

南伊豆町
津波避難計画
【本編】

津波避難の基本原則

地震だ！津波だ！すぐ避難！！

平成28年9月策定

目 次

第1章	はじめに	1
1.	津波避難計画の目的	1
2.	計画の使い方	1
第2章	避難計画	2
1.	対象とする津波の設定	2
2.	津波被害想定	2
3.	避難対策及び避難の対象となる地区	3
4.	避難の考え方	4
5-1.	避難の心得	5
5-2.	その他留意点	5
6.	安全性を向上させるための対策	6
7.	指定緊急避難場所（津波）	6
8.	避難路	6
9.	津波避難マップの使い方	7
10.	地区別の被害想定・避難方法・指定緊急避難場所（津波）一覧	8
第3章	防災教育・啓発	40
1.	防災教育の目的	40
2.	各自の役割	40
3.	防災知識の普及・啓発方法	40
第4章	防災訓練	41
1.	防災訓練の時期と内容	41
第5章	避難行動要支援者や観光客・海浜利用者等の避難対策	41
1.	避難行動要支援者への避難対策	41
2.	観光客、海浜利用者等への避難対策	41
第6章	初動体制	42
1.	職員の参集体制	42
2-1.	情報の収集	42
2-2.	情報の伝達	42
3.	津波注意報・大津波警報等の発令	43
4.	避難指示の発令	43

第1章 はじめに

1. 津波避難計画の目的

- 静岡県が平成 25 年に公表した「静岡県第4次地震被害想定」によると、南伊豆町の津波被害想定は非常に厳しく、避難が難しいことが想定されます。
- よって巨大地震による津波災害から命を守るために、以下を目的として、津波避難計画を作成します。
 - ① **津波避難の困難さや限界に向き合った、迅速かつ適切な避難行動の手助け**
 - ② **自助・共助・公助の連携による、段階的な安全性の向上**
- なお、本計画は新たな知見の発表や現状の変化等に応じて、適宜修正を行います。

2. 計画の使い方

- 本計画は静岡県第4次地震被害想定に基づいて、「避難の考え方、避難の心得、町民及び行政が取り組む津波対策等」を示しています。
- また「津波避難マップ」を併せて活用することで、自宅や勤務先からどのように避難すればよいか、事前に確認することができます。
- その他に、防災教育・啓発活動や防災訓練等についても掲載していますので、事前の対策や、いざという時の対応方法の確認に役立ててください。

【 参考：用語の意味 】

静岡県 第4次地震被害想定	静岡県内の市町・住民等が今後の地震・津波対策の基礎資料として活用することを目的に、静岡県がレベル1及びレベル2の地震・津波で想定される人的・建物被害などの程度を定量・定性的な指標で示したものをいう
レベル1の地震・津波	発生頻度が約100年～150年と比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波
レベル2の地震・津波	発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波
津波浸水想定区域	津波が発生した場合に想定される浸水の区域
津波到達時間	津波が浸水し始める時間
津波浸水深	地面から浸水域の水面までの深さ
要避難地区	津波による浸水の発生の危険が予想され、避難対策を推進する必要がある地域
避難対象地区	警戒宣言が発令された場合に、避難の勧告・指示を行う地域
指定緊急避難場所 (津波)	災害が発生し、又は発生するおそれがある場合における円滑かつ迅速な避難のための立退きの確保を図るため、政令で定める基準に適合する施設又は場所を、洪水、津波その他の政令で定める異常な現象の種類ごとに指定 ※本計画は津波の避難場所を示すため、「指定緊急避難場所(津波)」と表記する
避難行動要支援者	本町に居住する要配慮者(高齢者、障害のある人、外国人、乳幼児、妊産婦等)のうち、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要するもの

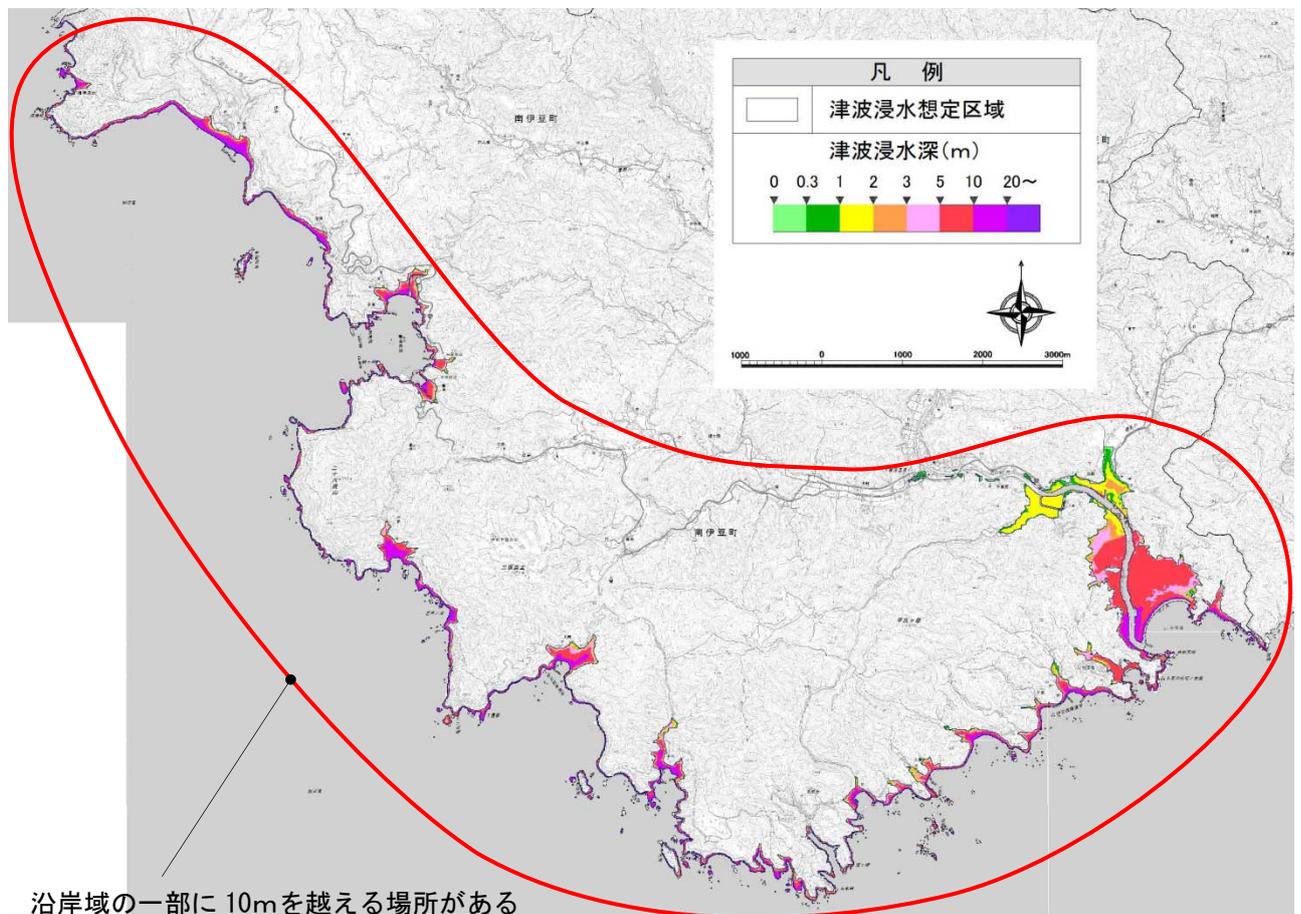
1. 対象とする津波の設定

- 本計画における津波浸水想定区域及び津波浸水深は、静岡県第4次地震被害想定に基づく、発生頻度は極めて低いが発生すれば甚大な被害をもたらすレベル2の地震・津波の各ケースを重ね合せた「静岡県第4次地震被害想定（第一次報告）に基づくレベル2津波の重ね合わせ図」とします。
- また津波到達時間は、「静岡県第4次地震被害想定（第一次報告）に基づくレベル2津波（ケース①）」とします。

2. 津波被害想定

- ① 津波浸水想定区域：漁港・集落を中心に約340ha 浸水する
- ② 津波浸水深：沿岸域の一部に10mを越える場所がある

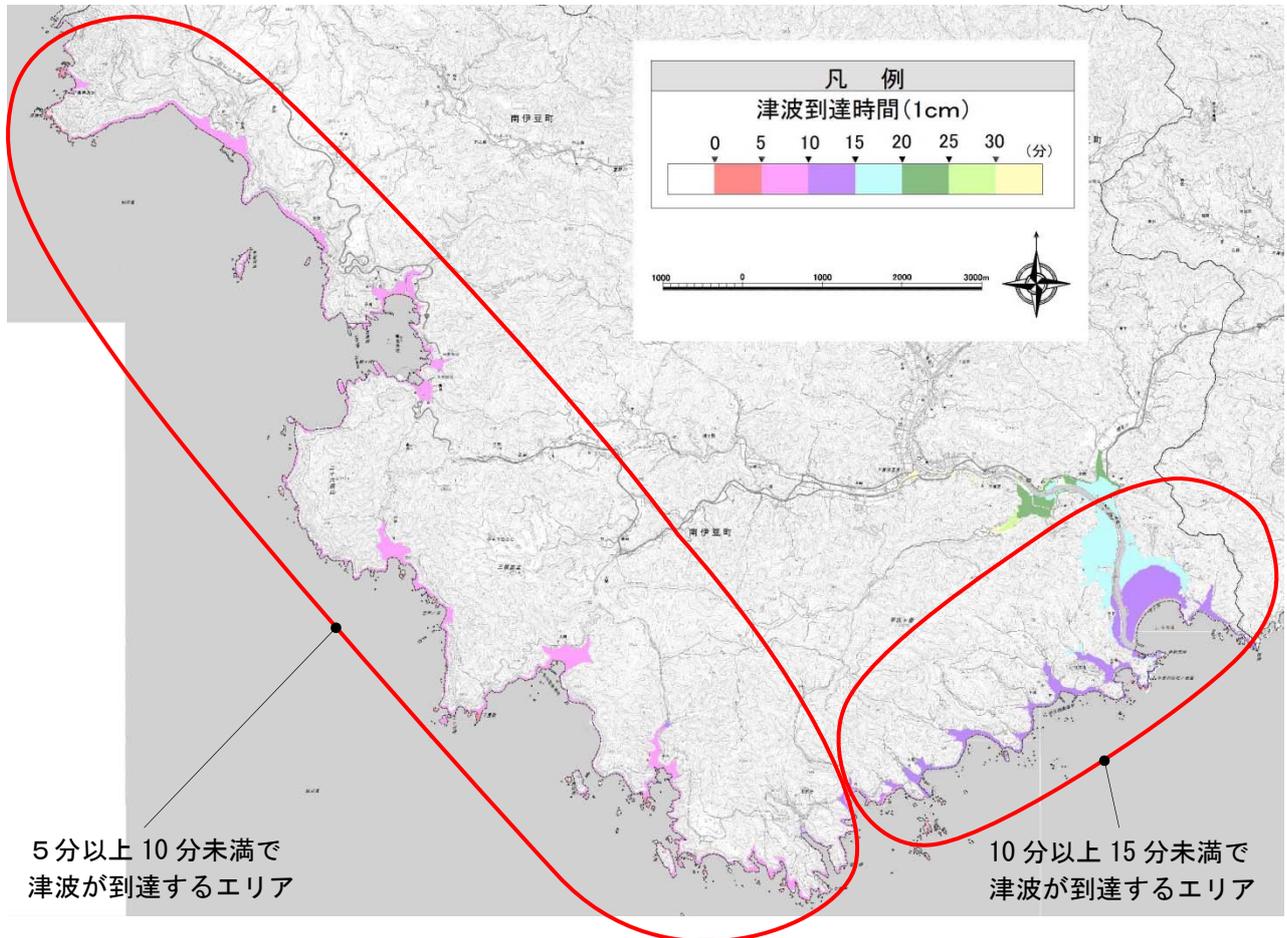
□ 津波浸水想定区域・津波浸水深



※ 地区ごとの津波浸水想定区域・津波浸水深は、P8～P39の「地区別の被害想定・避難方法・指定緊急避難場所（津波）一覧」を確認して下さい

- ③ 津波到達時間：西部は5分以上 10分未満、南部は10分以上 15分未満のエリアが広がる
 ※ 津波到達時間は津波が1cm浸水し始める時の時間

□ 津波到達時間



※ 地区ごとの津波浸水想定区域・津波浸水深は、P8～P39の「地区別の被害想定・避難方法・指定緊急避難場所(津波)一覧」を確認して下さい

3. 避難対策及び避難の対象となる地区

- 「津波による浸水が予想され、避難対策を推進する必要がある地域(要避難地区)」及び「警戒宣言が発令された場合に、避難の指示を行う地域(避難対象地区)」を、津波浸水想定区域を含む地区で設定します。
- 該当する地区は、「伊浜、落居、西子浦、東子浦、妻良、吉田、入間、中木、石廊崎、大瀬、下流、小稲、手石、湊、下賀茂地区」です。
- なお、津波災害警戒区等が指定された場合には、要避難地区・避難対象地区を見直します。

4. 避難の考え方

- 津波から命を守るためには、迅速かつ確かな避難が必要です。避難の際には以下に沿った避難を実施して下さい。

① 津波浸水想定区域外へ避難する

(周辺に高台・地域集合場所・一次避難地がある場合には、そこに避難)

② 上記の避難が不可能なエリアは、

町が既に指定している津波避難ビルや津波避難タワーに避難する

※ 地区ごとの避難先・避難方向は、P8～P39の「10. 地区別の被害想定・避難方法・指定緊急避難場所(津波)一覧」を確認して下さい。

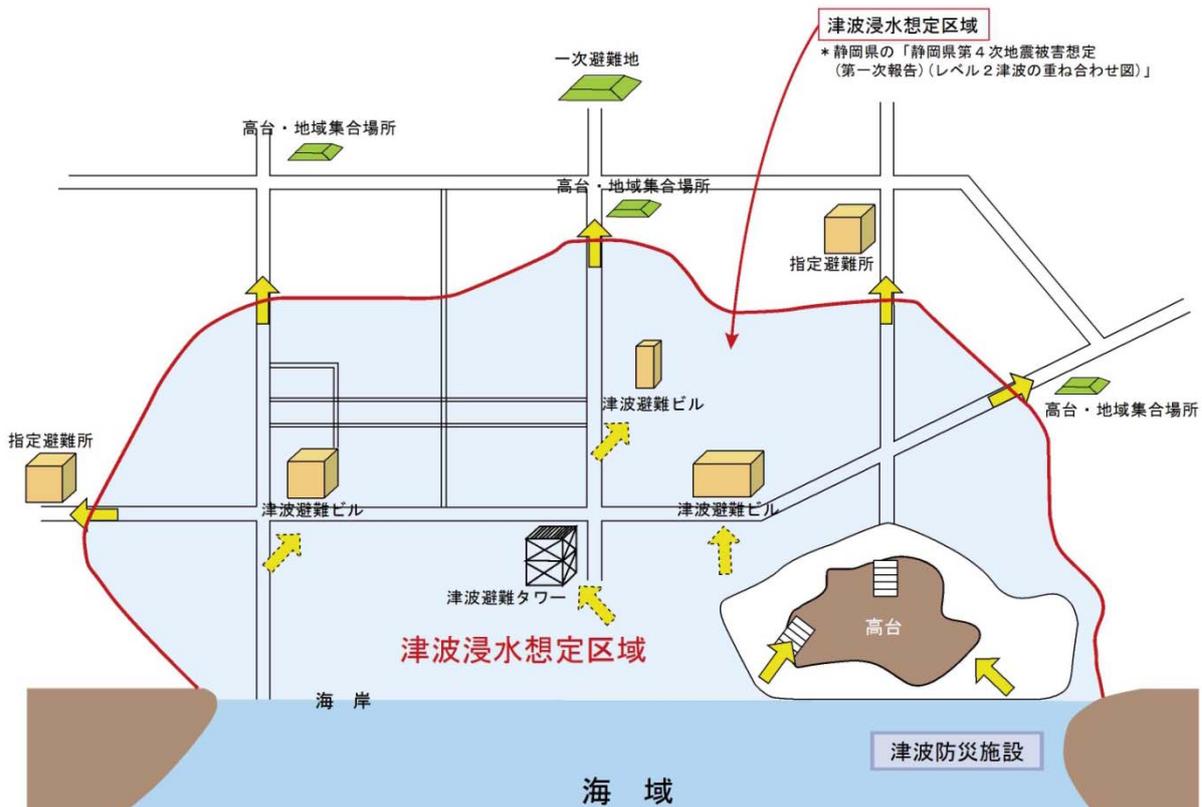
- また南伊豆町では、以下の基準で避難を実施する必要があります。

- ・ 地震発生後3分で避難開始

- ・ 平地や斜面を1秒で1m進む(水平および斜面移動速度 1.0m/s) 等

- なお、上記の基準で津波の到達までに避難先にたどりつくことができないエリアは、さらに急いだ避難を実施しなければなりません。

□ 避難の考え方(イメージ)



5-1. 避難の心得

○ いざという時のために、日ごろから以下を心得ておくことが大切です。

① まず、我が身の安全を真っ先に考えること

- ・ 自分がけがをしては、避難もままなりません。

② 素早く避難を開始すること（地震発生から3分で避難開始）

- ・ 南伊豆町は最短約6分で津波が到達します。揺れが残っていても、できる限り急いで避難しましょう。

③ あらかじめ避難先を把握しておくこと

- ・ 災害はいつ起こるかわかりません。避難する場所を普段から確認しておきましょう。

④ 素早い避難をすること（1秒で1m進む避難をしましょう）

- ・ 津波はとても早いため、のんびり歩いては間に合いません。

⑤ 避難を妨げる問題がどこにあるか把握しておくこと

- ・ 円滑な避難のために、予め地域のどこに避難を妨げる問題があるか把握しておくことが重要です。

⑥ 避難を妨げる問題に対して対策を講じ、解消すること

- ・ 地震で家具が転倒すると、ケガをするばかりか、迅速な避難ができなくなります。安全に避難するためには、家庭や地域で出来る地震対策（家具の固定・通路の整理・耐震化）が重要となります。

5-2. その他留意点

○ また避難の心得以外にも、避難の際には留意しなければならないことがあります。

① 徒歩により避難すること（車による避難は原則禁止）

- ・ ちょっとした原因で車は通行できなくなり、津波に巻き込まれる危険性が高くなります。

② 財産（家財や持ち船等）の保全や持ち出しはあきらめること

- ・ 過去の津波災害では、貴重品を取りに戻って津波に巻き込まれた人、船が心配になり様子を見に行って津波に巻き込まれた人など、数分の差で命を落とすケースもあります。

③ 堅い物（岩場や堤防等）からできるだけ離れること

- ・ 津波に飲み込まれた場合、死因の多くは、岩やコンクリートなどの堅い物にたたきつけられて気絶したり、負傷して水死するケースが多いです。

6. 安全性を向上させるための対策

- 南伊豆町では、「地震発生後3分で避難を開始し、平地や斜面を1秒で1m進む」という、厳しい条件で避難をする必要があります。
- よって、避難の安全性を向上させるために、以下の対策を段階的に検討・実施します。

① 被害想定や避難の考え方の周知徹底に取り組みます。

- ・ より迅速かつ適切な避難を促すために、被害想定・避難の考え方・避難の心得を本計画や津波避難マップで広報します。
- ・ 実際に適切な避難行動が取れるようにするために、避難訓練を実施します。

② 高台や地域集合場所の整備等に取り組みます。

- ・ 避難先となりうる場所を整備し、指定緊急避難場所（津波）として追加します。

③ 津波避難ビルの指定・津波避難タワーの整備に取り組みます。

- ・ 津波による被害が大きい場所では、津波避難ビルの指定や津波避難タワーの整備のための検討を進めます。

- また町民と行政が、それぞれ津波避難に役立つ対策を打つ必要があります。

- 町民等による対策（例）：防災学習、避難訓練への参加、避難路の草刈り、耐震補強の実施等
- 行政による対策（例）：避難路や高台の整備、避難案内看板の設置等

7. 指定緊急避難場所（津波）

- 大規模な揺れを感じた際は、指定緊急避難場所（津波）に避難してください。
 - ・ 指定緊急避難場所とは、「災害が発生し、又は発生するおそれがある場合における円滑かつ迅速な避難のための立退きの確保を図るため、政令で定める基準に適合する施設又は場所を、洪水、津波その他の政令で定める異常な現象の種類ごとに指定するもの」です。
 - ・ 南伊豆町では指定緊急避難場所（津波）として、津波浸水想定区域外の高台・地域集合場所・一次避難地等や、津波避難ビル・津波避難タワーを指定します。

8. 避難路

- 南伊豆町では全ての道路を避難路として使用するため、避難路の指定は行いません。

9. 津波避難マップの使い方

- 差し迫る津波被害から命を守るために、迅速かつ的確な避難を助ける津波避難マップを作成しています。以下の使い方や活用例を参考に、ご自分の避難に役立ててください。

【使用方法】

- ・ 津波浸水想定区域・津波浸水深・津波到達時間等を把握する
- ・ 避難先、避難方向、避難の心得を確認する
- ・ その他、防災情報の取得方法や災害伝言ダイヤルの使用方法等を確認する
- ・ 自分の避難方法を考えてみる（※手順は下記参照）

【活用例】

- ・ 家庭で津波避難マップを活用し、家族の避難先を確認・把握しておく
- ・ 避難訓練の前に予め自分の避難先や避難方向を確認し、避難訓練の際に活用する
- ・ 自主防災組織は、地区の避難行動を把握し、防災計画書を作成するために活用する
- ・ 学校の防災教育で津波避難マップの使い方を説明・活用し、実際に津波避難マップで考えた避難方法で避難訓練を実施する
- ・ 観光施設や宿泊施設等に津波避難マップを掲示する

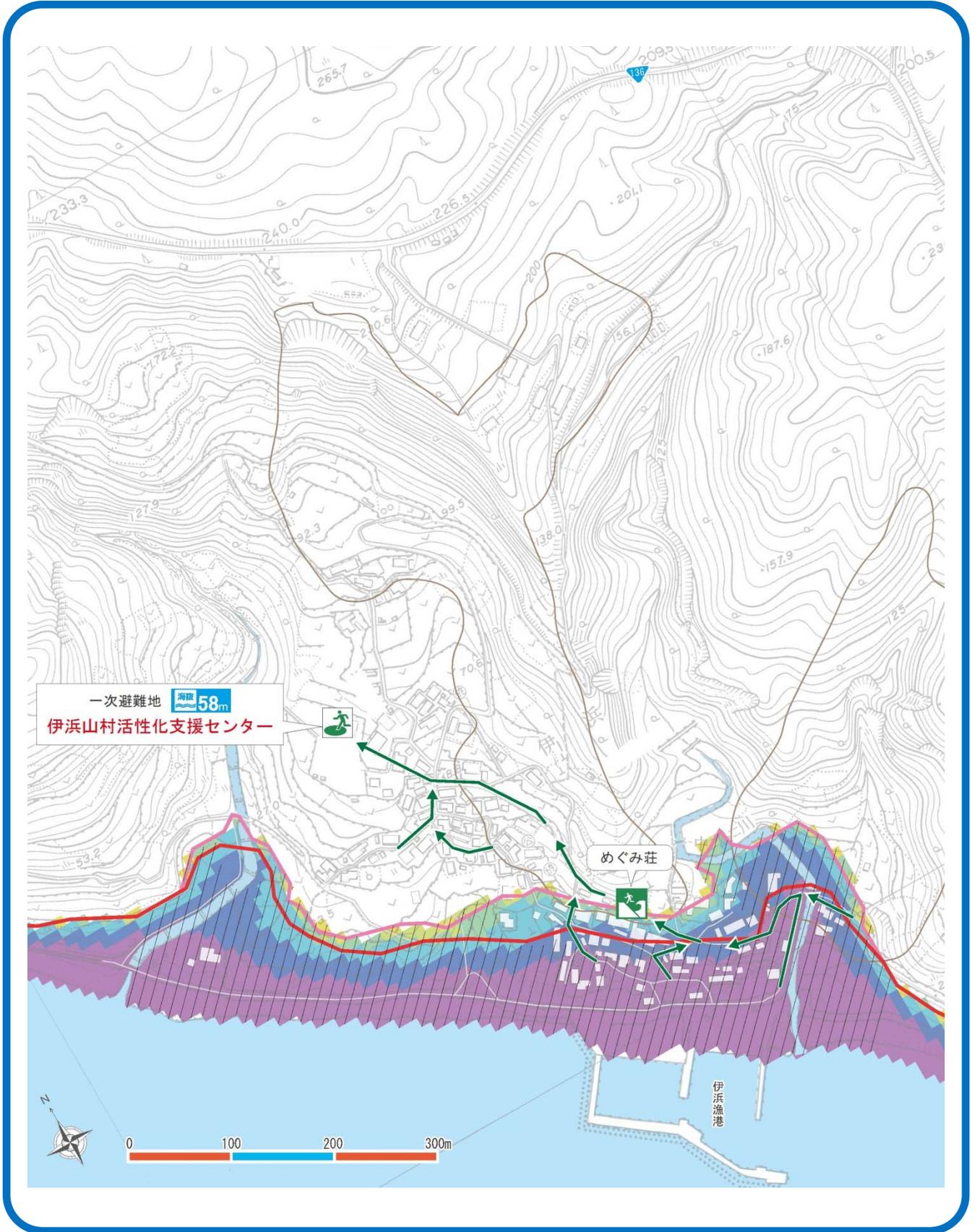
津波避難マップを活用し、以下の手順で避難を確認してみよう

- ① あなたのお住まいはどこですか？
- ② 最寄りの津波避難場所※はどこですか？
- ③ 最寄りの津波避難場所※までの避難経路を確認しましょう。
 - ・ 徒歩で避難することを前提に、避難経路を選びましょう
 - ・ 浸水するエリアから、迅速に避難できる経路を選びましょう
 - ・ 津波は河川をさかのぼってきます。河川を渡る、近くを通ることはなるべく避けましょう
- ④ 避難経路を実際に歩き、津波避難場所※までの所要時間と、津波避難場所※周辺の津波到達時間を確認しましょう。≪「津波到達時間 － 避難開始時間（3分） － 所要時間」がマイナスになる場合は、さらに急いで避難するか、避難経路の再検討が必要です≫
 - ・ 避難を妨げるような問題（河川・がけ崩れ）がないか確認しましょう
 - ・ 問題がある場合には避難経路の再検討や迂回路も併せて検討しておきましょう
 - ・ 津波避難場所※にたどり着く前に浸水が始まってしまった場合のために、近くにある避難先となりそうな高台や建物（鉄筋コンクリート造で3階以上）も確認しましょう
- ⑤ あなたのお住まい以外で、日頃よく訪れる場所（通勤通学先やスーパー等）からの避難経路も同じように考えてみましょう。

※ 津波避難場所は、「指定緊急避難場所（津波）」を示す

10. 地区別の被害想定・避難方法・指定緊急避難場所（津波）一覧

【伊浜地区】

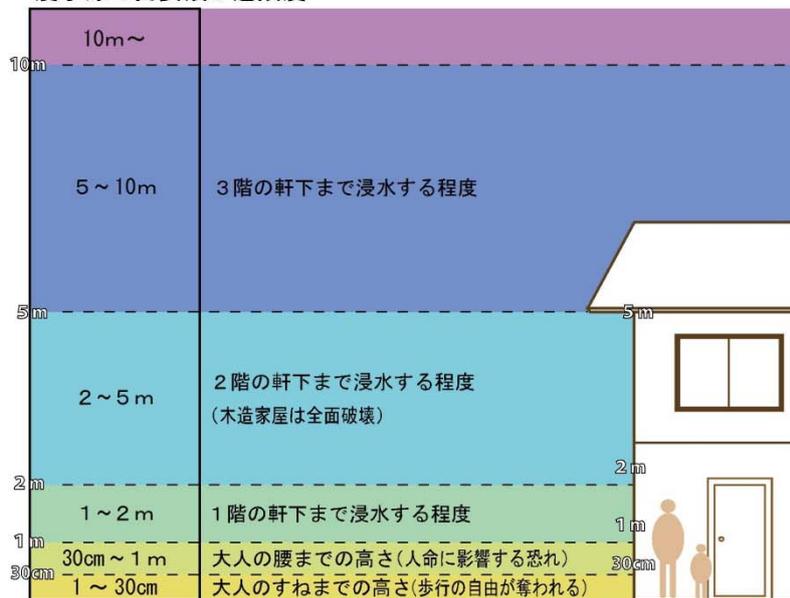


指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考
伊浜山村活性化支援センター	一次避難地
めぐみ荘	地域集合場所

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸し、どのような危険があるのか確認して下さい。

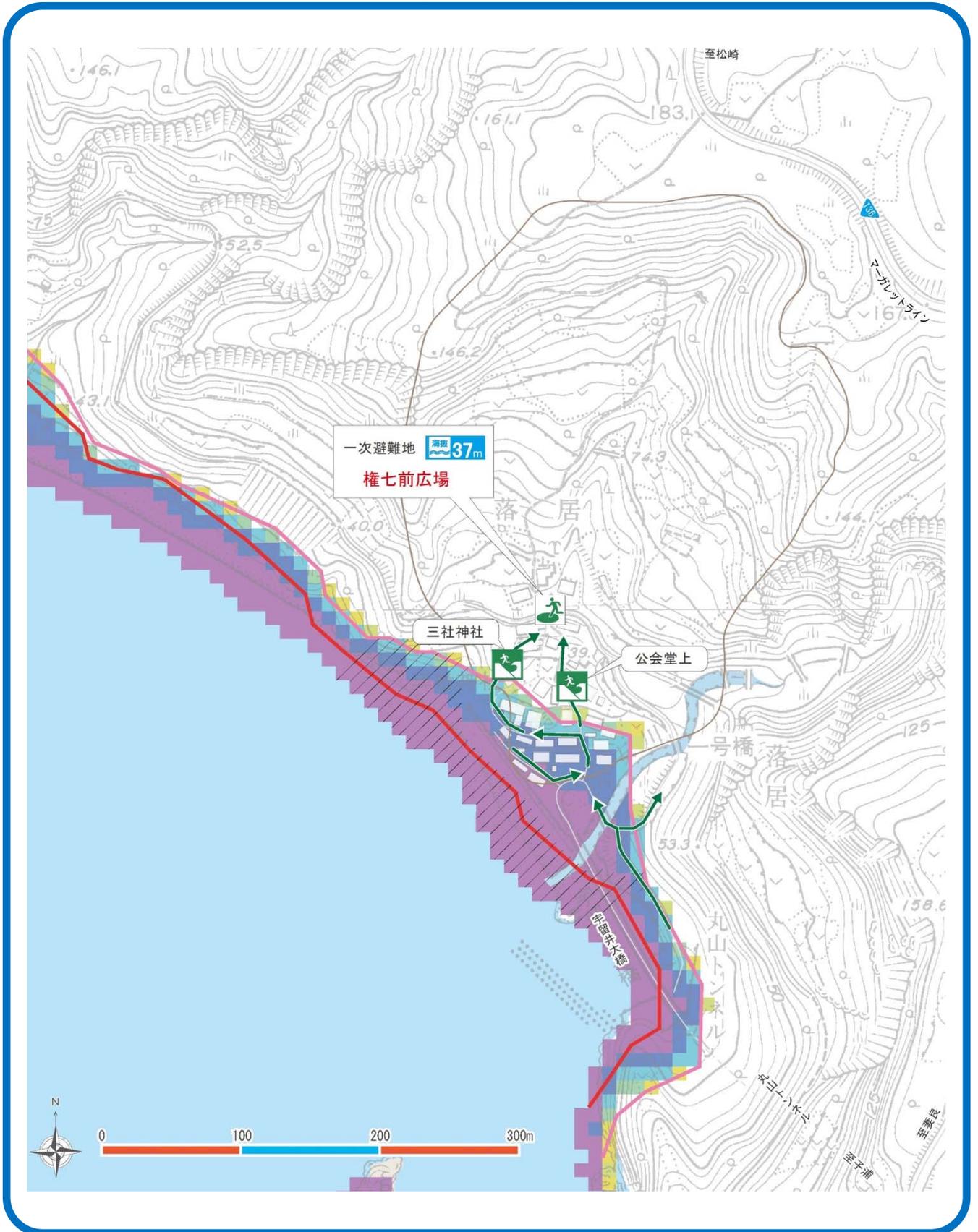
浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約7分で浸水開始
- 地震発生から約8分で浸水開始
- 地震発生から約9分で浸水開始
- 地震発生から約10分で浸水開始
- /// 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 避難方向（メイン）
- 避難方向（サブ）
※避難方向（メイン）で避難できない場合には、避難方向（サブ）で避難すること
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

【 落居地区 】

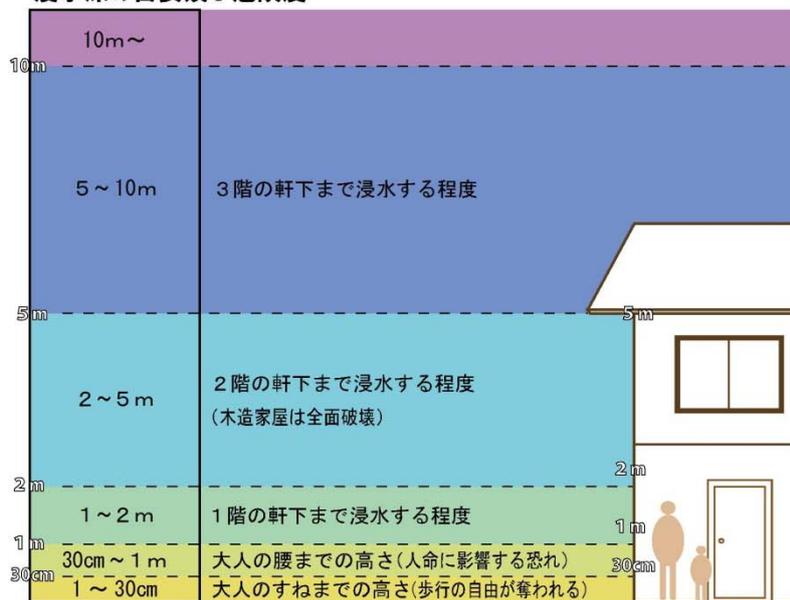


指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考
権七前広場	一次避難地
三社神社	地域集合場所
公会堂上	

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。

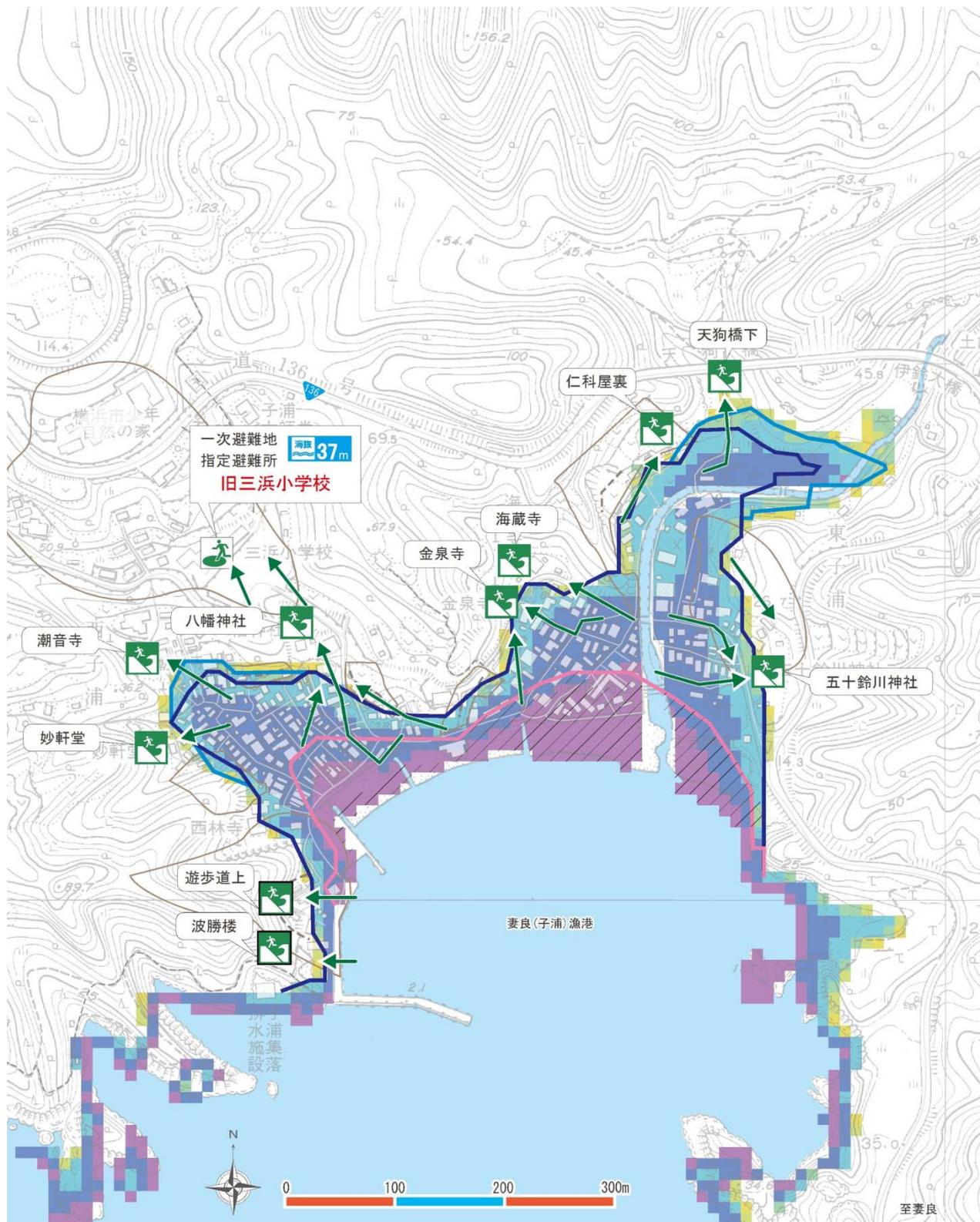
浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約7分で浸水開始
- 地震発生から約8分で浸水開始
- 地震発生から約9分で浸水開始
- 地震発生から約10分で浸水開始
- /// 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 避難方向（メイン）
- 避難方向（サブ）
※避難方向（メイン）で避難できない場合には、避難方向（サブ）で避難すること
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

【 東子浦・西子浦地区 】

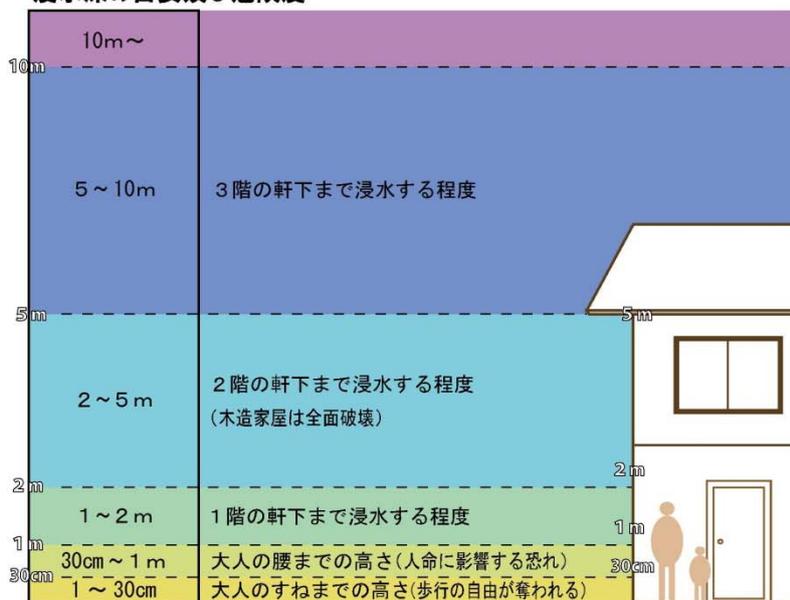


指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考	名称	備考
旧三浜小学校	一次避難地 指定避難所	八幡神社	地域集合場所
波勝楼	高台	金泉寺	
遊歩道上		海蔵寺	
妙軒堂	地域集合場所	仁科屋裏	
潮音寺		天狗橋下	
		五十鈴川神社	

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。

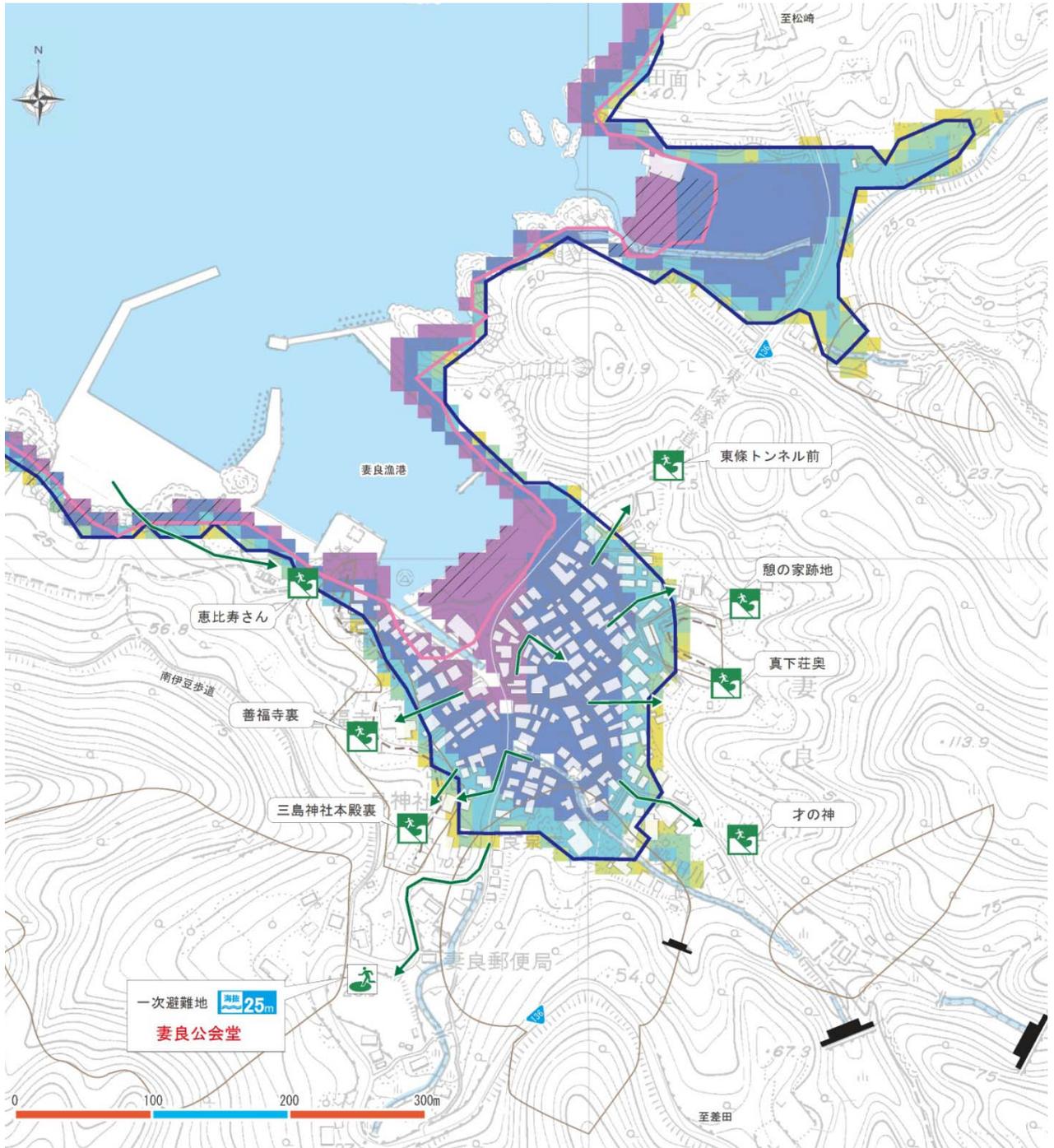
浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約7分で浸水開始
- 地震発生から約8分で浸水開始
- 地震発生から約9分で浸水開始
- 地震発生から約10分で浸水開始
- /// 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 避難方向(メイン)
- 避難方向(サブ)
※避難方向(メイン)で避難できない場合には、避難方向(サブ)で避難すること
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

【 妻良地区 】

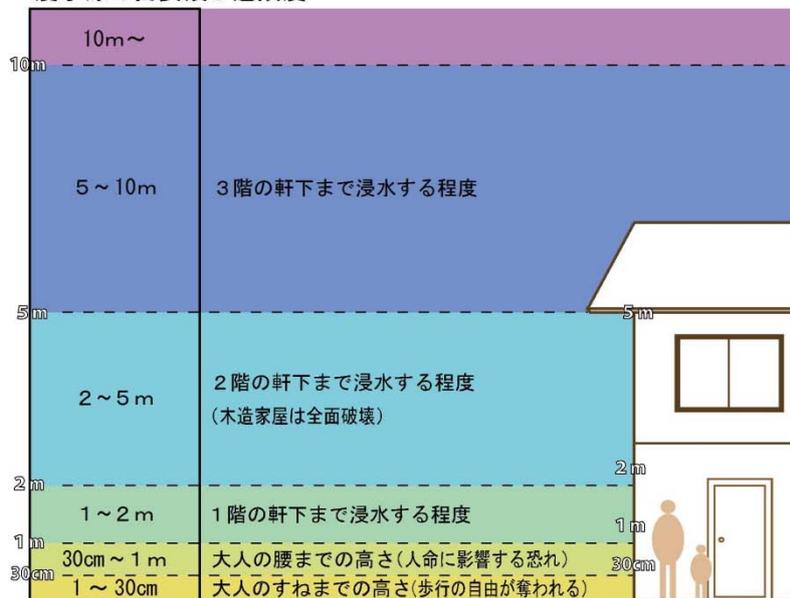


指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考	名称	備考
妻良公会堂	一次避難地	才の神	地域集合場所
恵比寿さん	地域集合場所	真下荘奥	
善福寺裏		憩の家跡地	
三島神社本殿裏		東條トンネル前	

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。

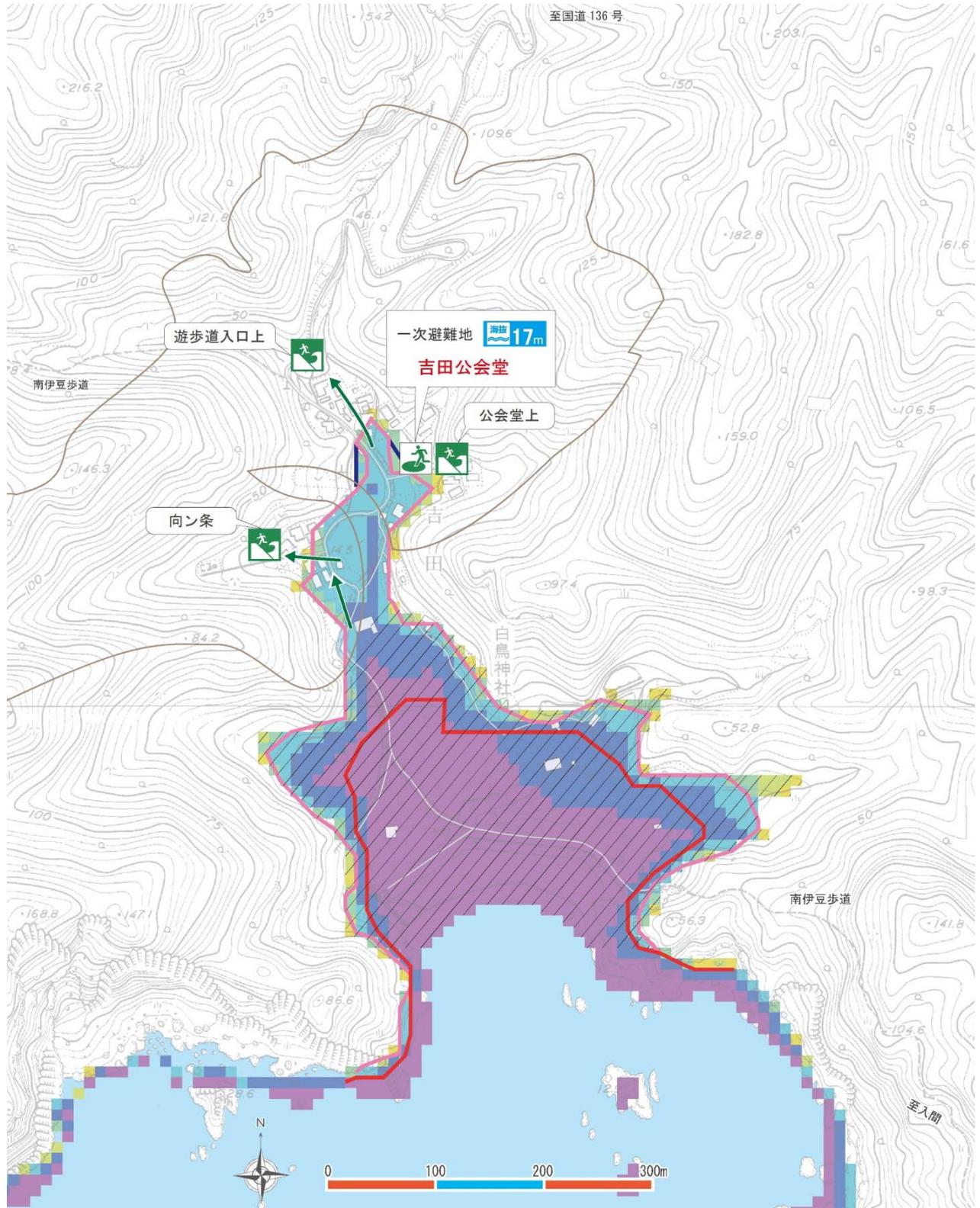
浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約7分で浸水開始
- 地震発生から約8分で浸水開始
- 地震発生から約9分で浸水開始
- 地震発生から約10分で浸水開始
- /// 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 避難方向（メイン）
- 避難方向（サブ）
※避難方向（メイン）で避難できない場合には、避難方向（サブ）で避難すること
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

【吉田地区】

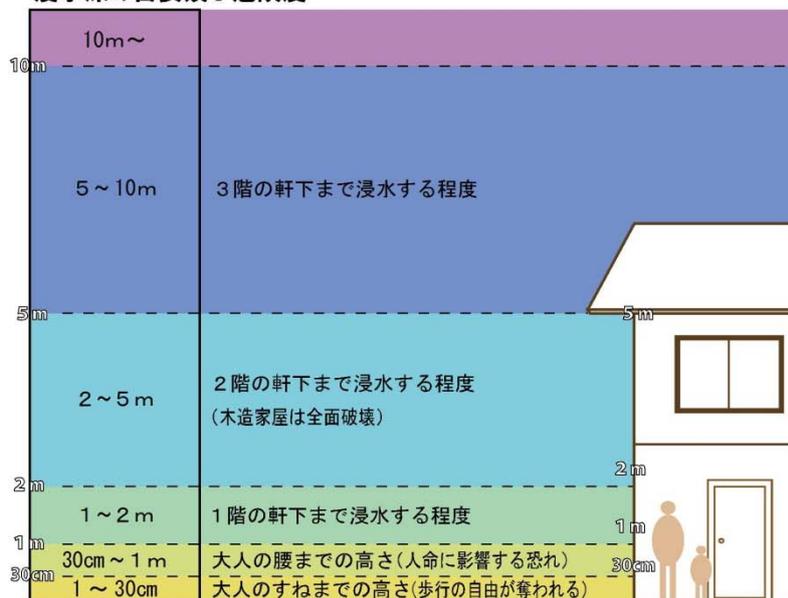


指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考
吉田公会堂	一次避難地
遊歩道入口上	地域集合場所
公会堂上	
向ン条	

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。

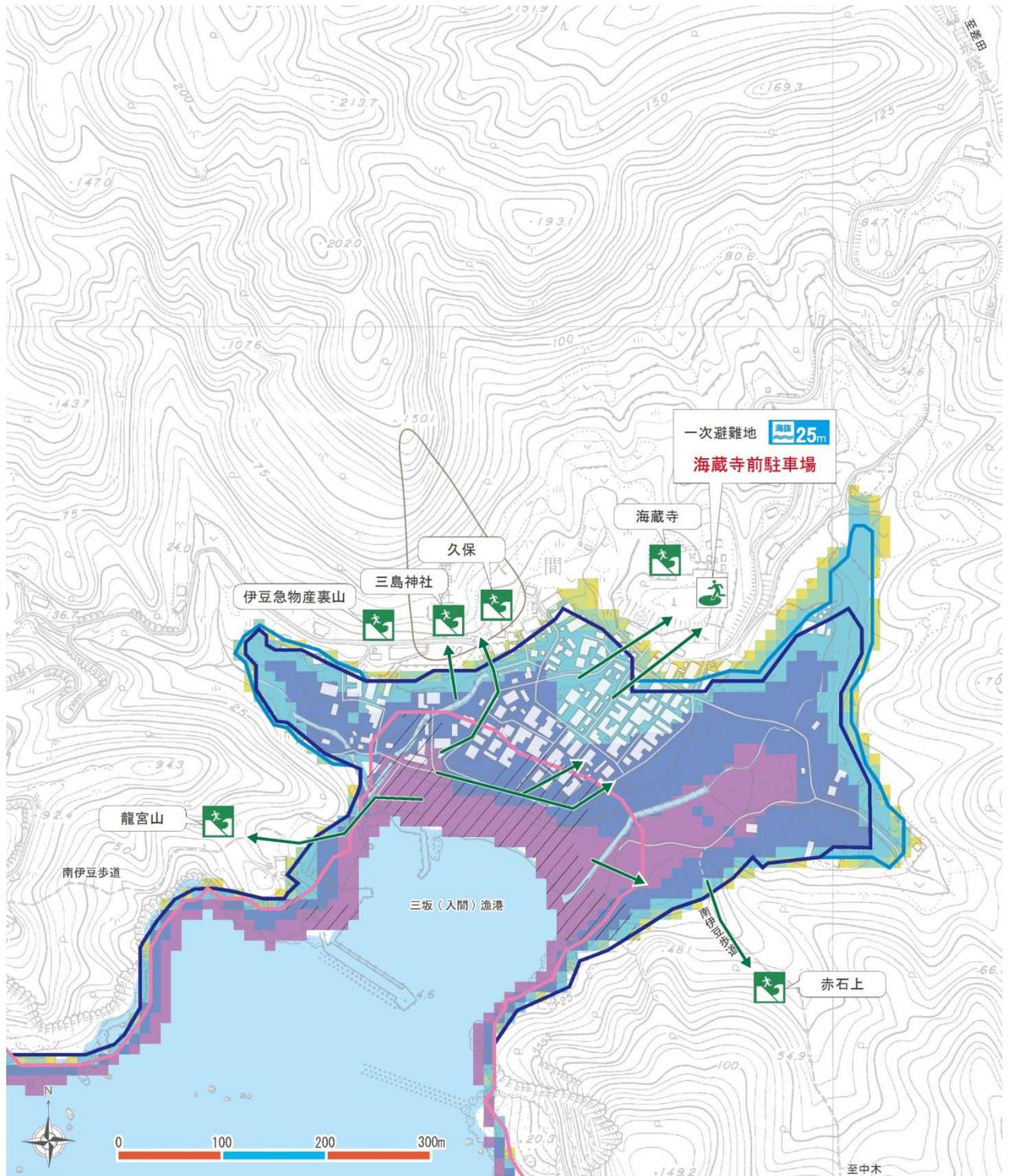
浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約7分で浸水開始
- 地震発生から約8分で浸水開始
- 地震発生から約9分で浸水開始
- 地震発生から約10分で浸水開始
- /// 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 避難方向（メイン）
- 避難方向（サブ）
※避難方向（メイン）で避難できない場合には、避難方向（サブ）で避難すること
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

【 入間地区 】

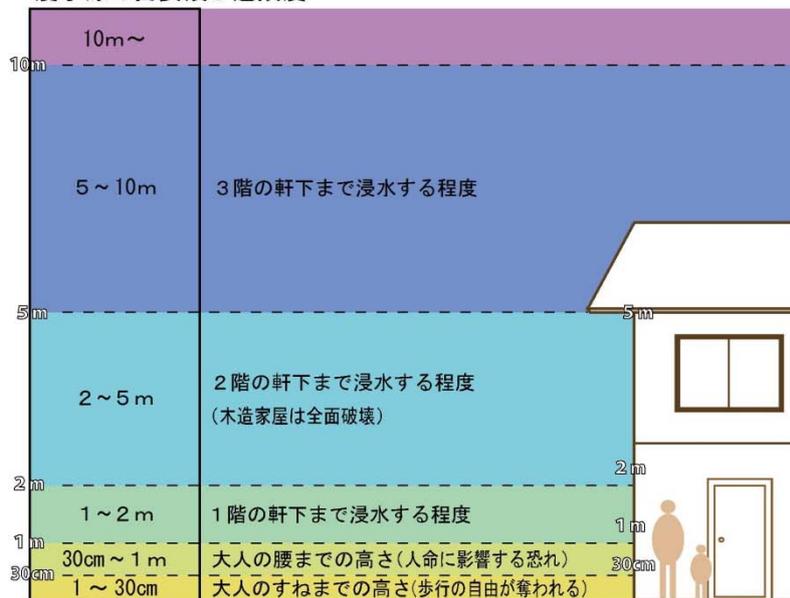


指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考	名称	備考
海蔵寺前駐車場	一次避難地	久保	地域集合場所
龍宮山	地域集合場所	海蔵寺	
伊豆急物産裏山		赤石上	
三島神社			

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。

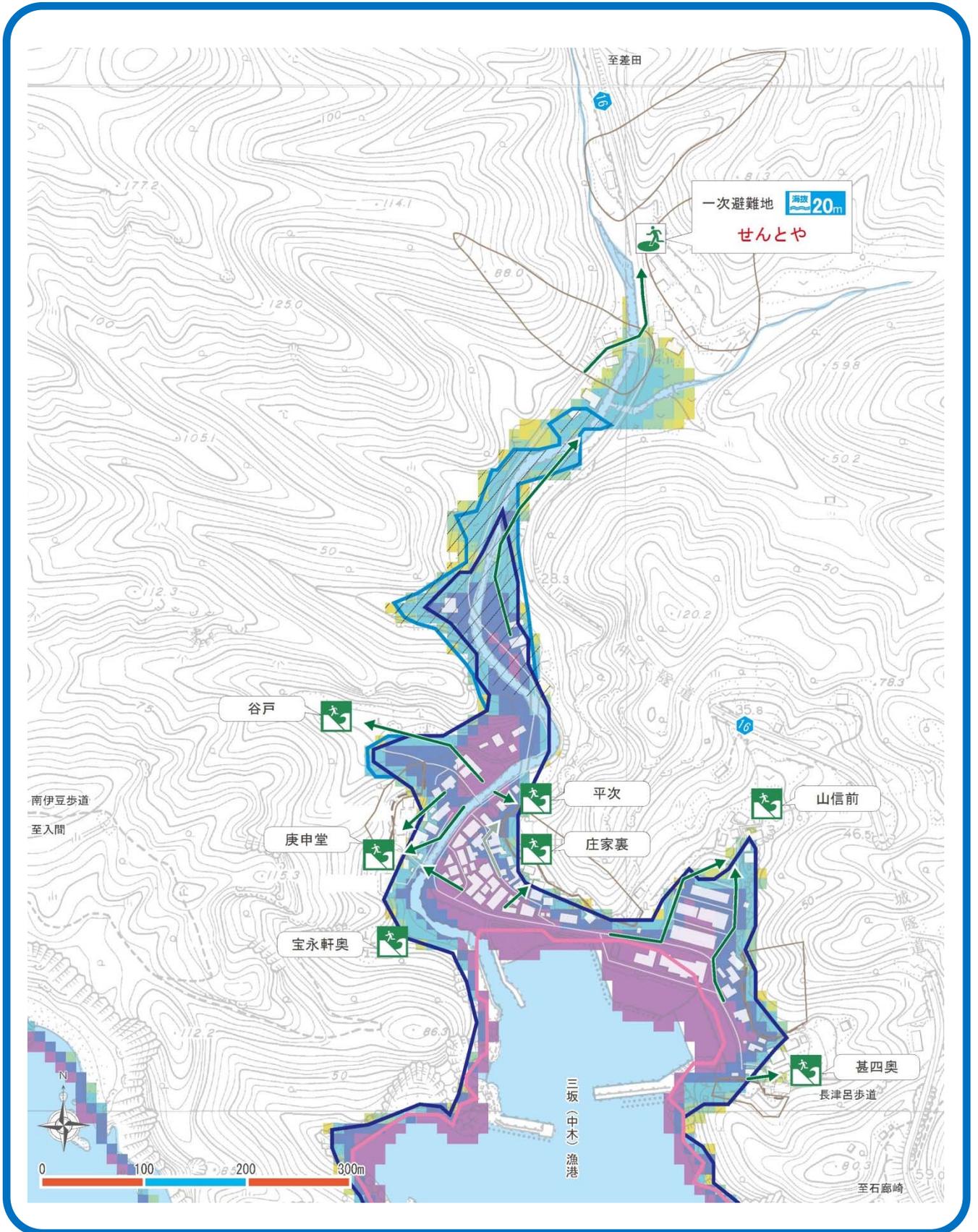
浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約7分で浸水開始
- 地震発生から約8分で浸水開始
- 地震発生から約9分で浸水開始
- 地震発生から約10分で浸水開始
- /// 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 避難方向（メイン）
- 避難方向（サブ）
※避難方向（メイン）で避難できない場合には、避難方向（サブ）で避難すること
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

【 中木地区 】

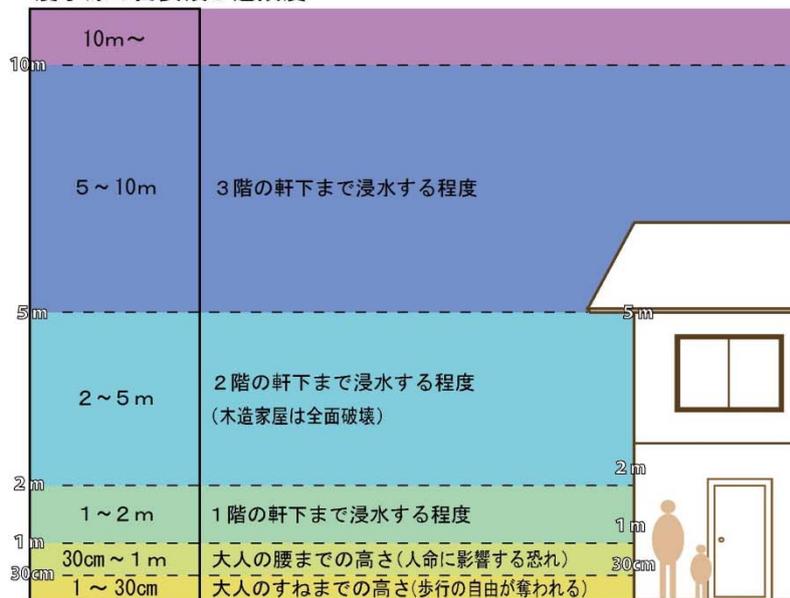


指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考	名称	備考
せんとや	一次避難地	平次	地域集合場所
宝永軒奥	地域集合場所	庄家裏	
庚申堂		山信前	
谷戸		甚四奥	

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。

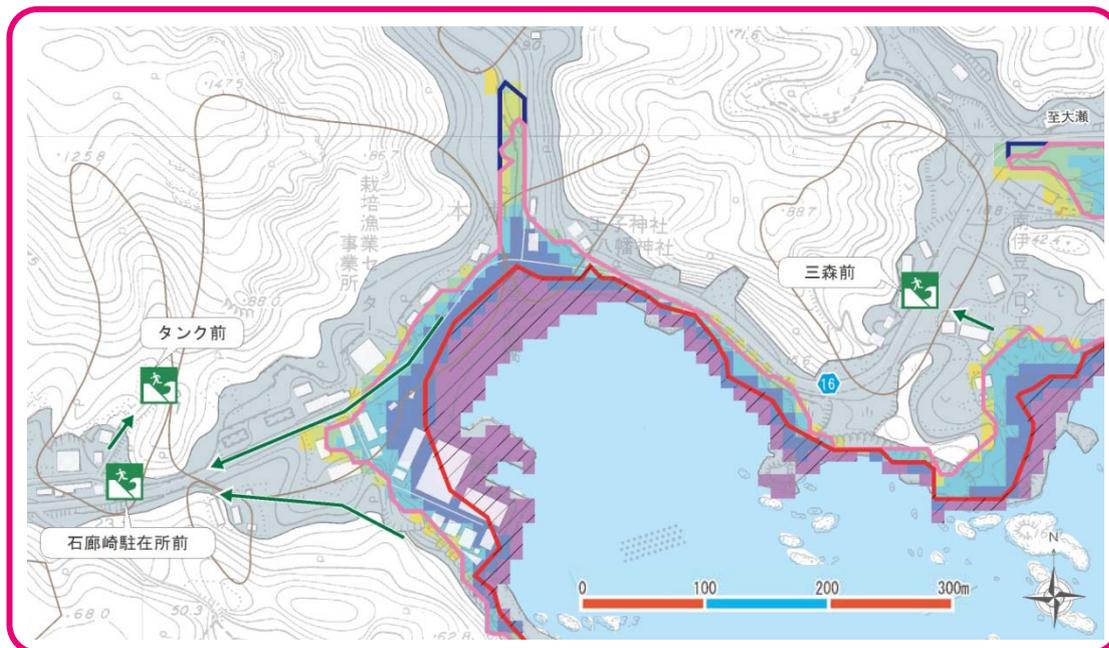
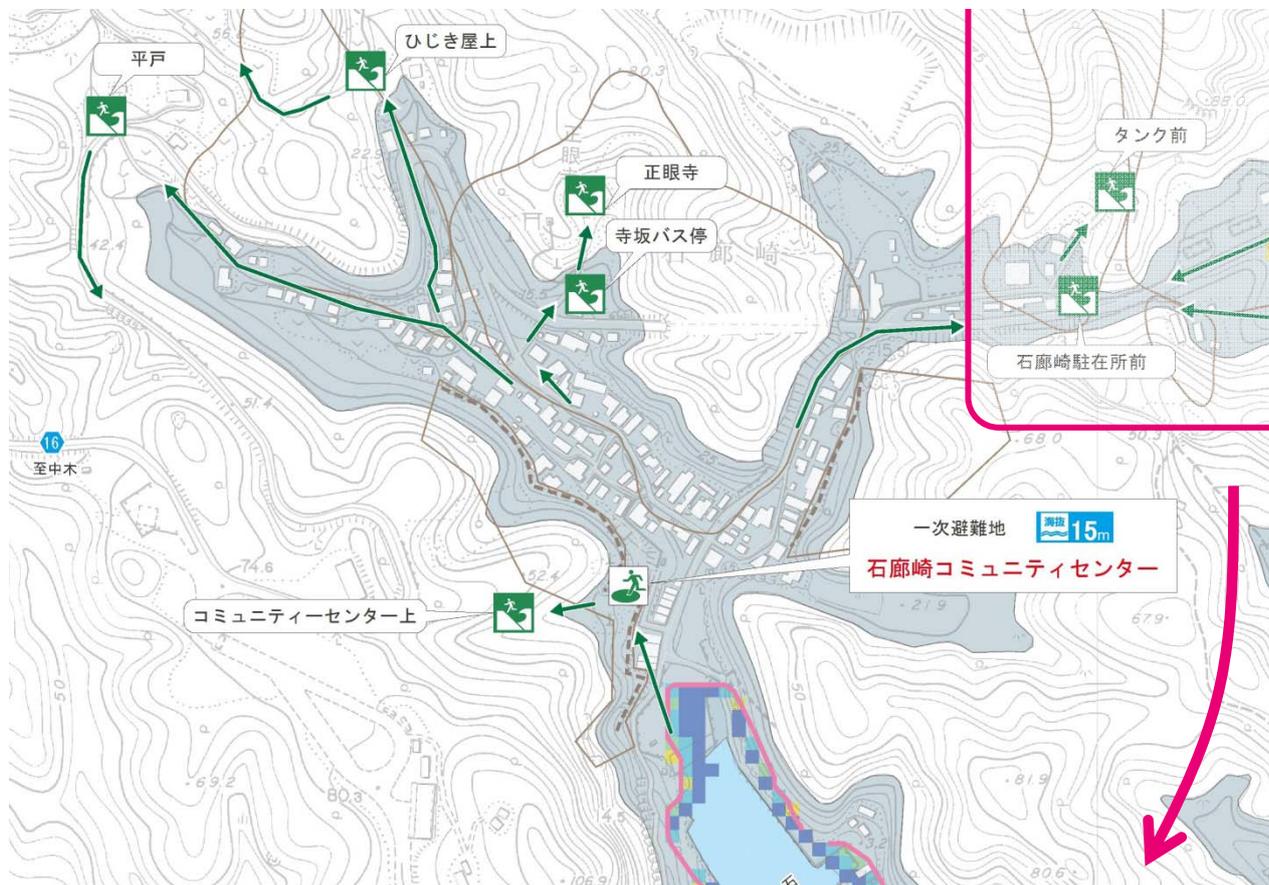
浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約7分で浸水開始
- 地震発生から約8分で浸水開始
- 地震発生から約9分で浸水開始
- 地震発生から約10分で浸水開始
- /// 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 避難方向（メイン）
- 避難方向（サブ）
※避難方向（メイン）で避難できない場合には、避難方向（サブ）で避難すること
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

【 石廊崎地区 】

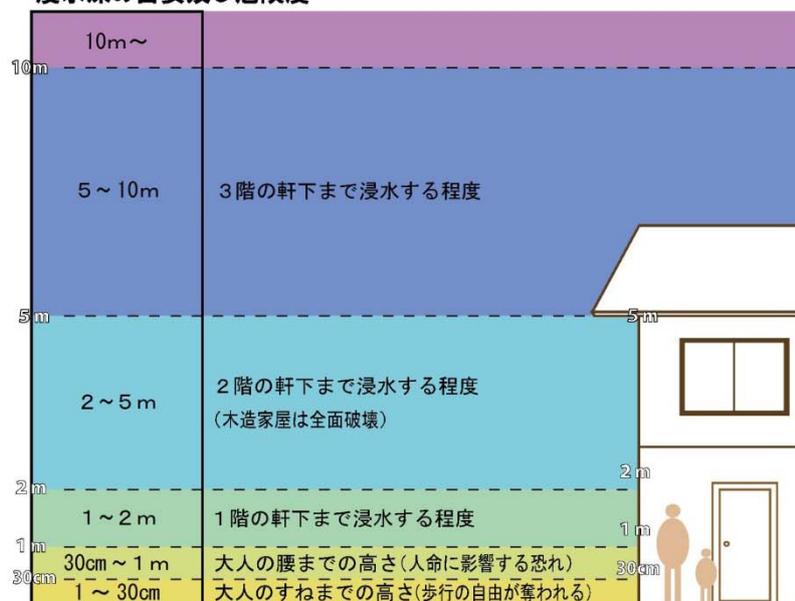


指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考	名称	備考
石廊崎 コミュニティセンター	一次避難地	正眼寺	地域集合場所
平戸		寺坂バス停	
ひじき屋上	地域集合場所	タンク前	
コミュニティセンター上		石廊崎駐在所前	
		三森前	

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。

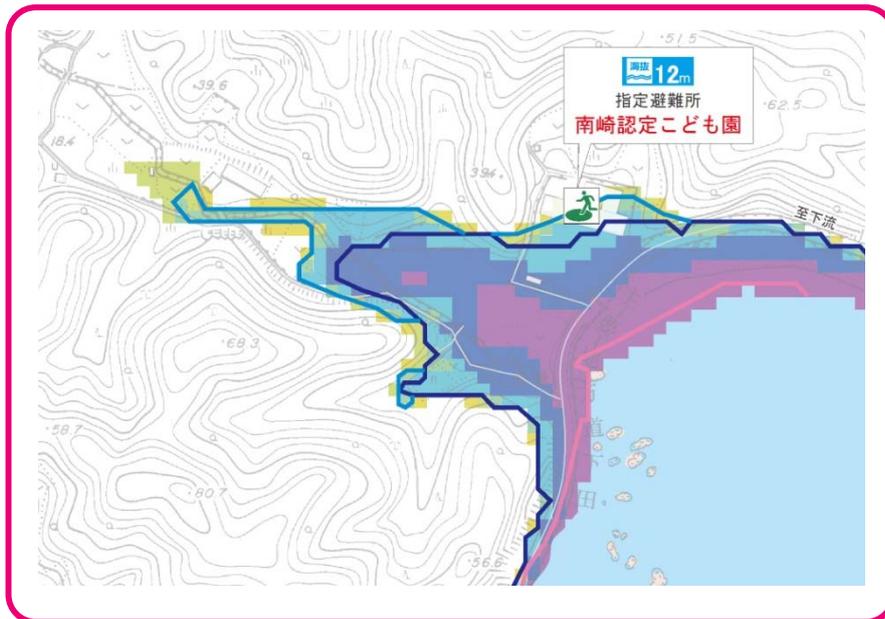
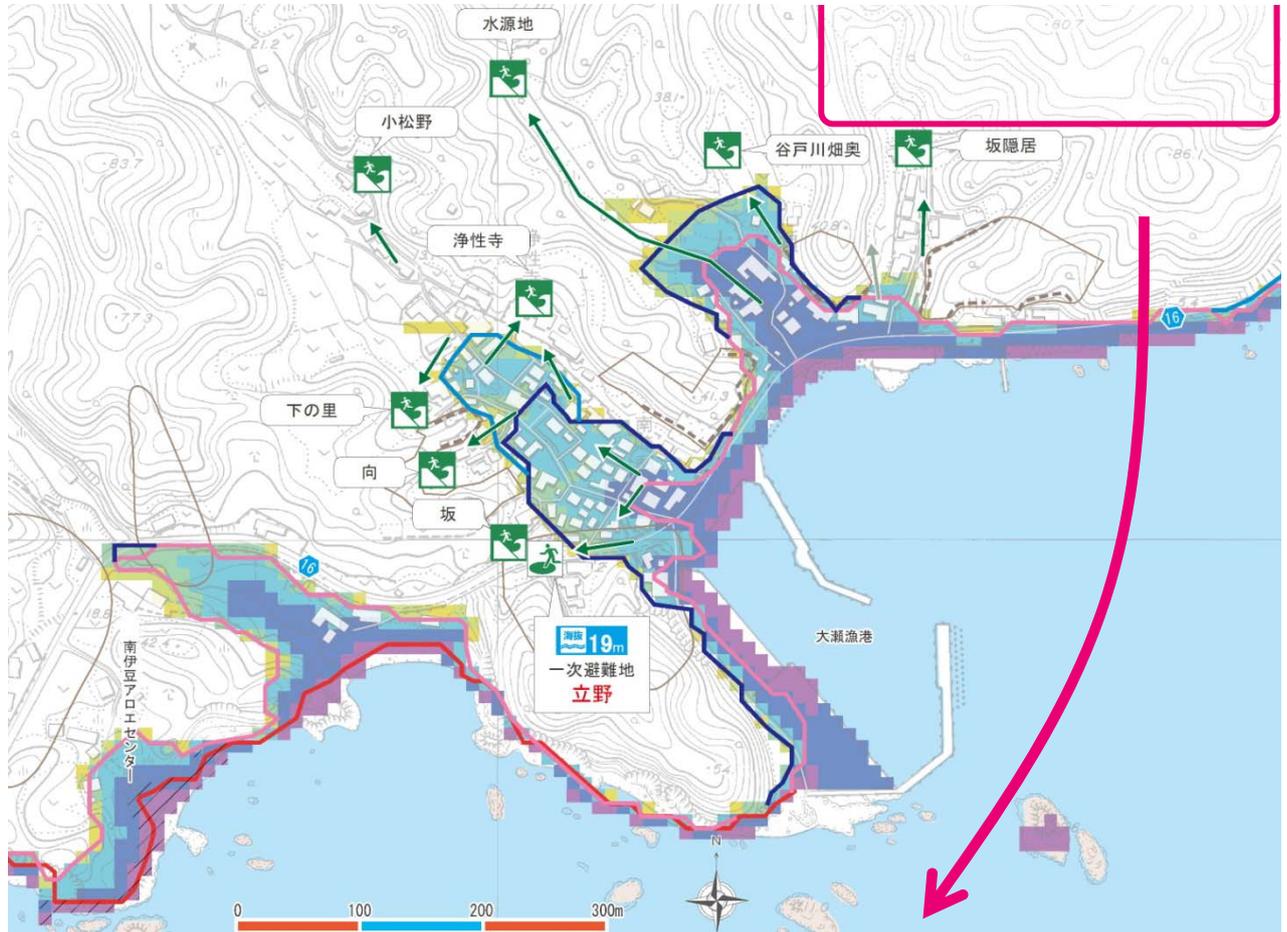
浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約10分で浸水開始
- 地震発生から約11分で浸水開始
- 地震発生から約12分で浸水開始
- 地震発生から約13分で浸水開始
- /// 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 参考:他の地区で最も高い場所まで津波が到達するライン
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 避難方向(メイン)
- 避難方向(サブ)
※避難方向(メイン)で避難できない場合には、避難方向(サブ)で避難すること
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

【大瀬地区】

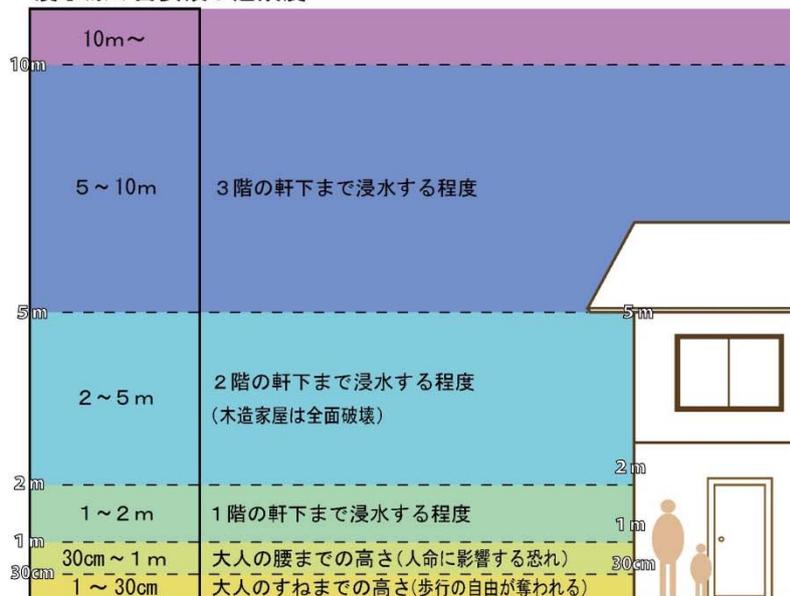


指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考	名称	備考
立野	一次避難地	小松野	地域集合場所
南崎認定こども園	指定避難所	浄性寺	
坂	地域集合場所	水源地	
向		谷戸川畑奥	
下の里		坂隠居	

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。

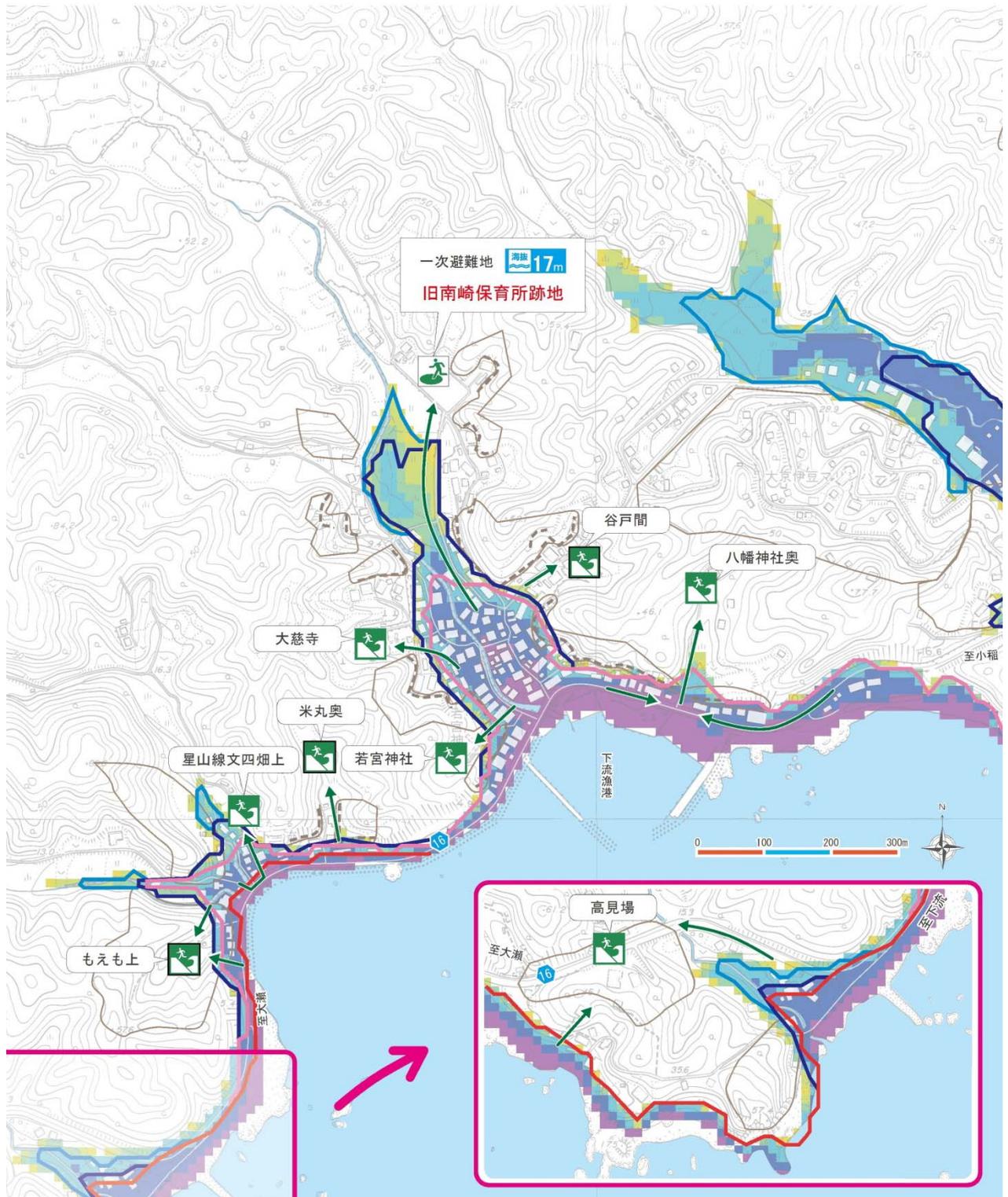
浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約10分で浸水開始
- 地震発生から約11分で浸水開始
- 地震発生から約12分で浸水開始
- 地震発生から約13分で浸水開始
- /// 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 避難方向（メイン）
- 避難方向（サブ）
※避難方向（メイン）で避難できない場合には、避難方向（サブ）で避難すること
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

【 下流地区 】

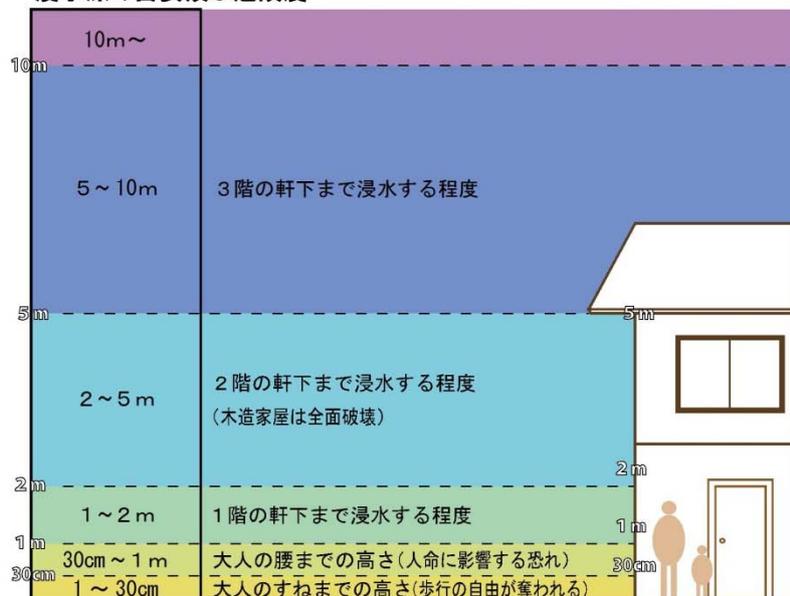


指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考	名称	備考
旧南崎保育所跡地	一次避難地	若宮神社	地域集合場所
もえも上	高台	大慈寺	
米丸奥		八幡神社奥	
谷戸間		高見場	
星山線文四畑上	地域集合場所		

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。

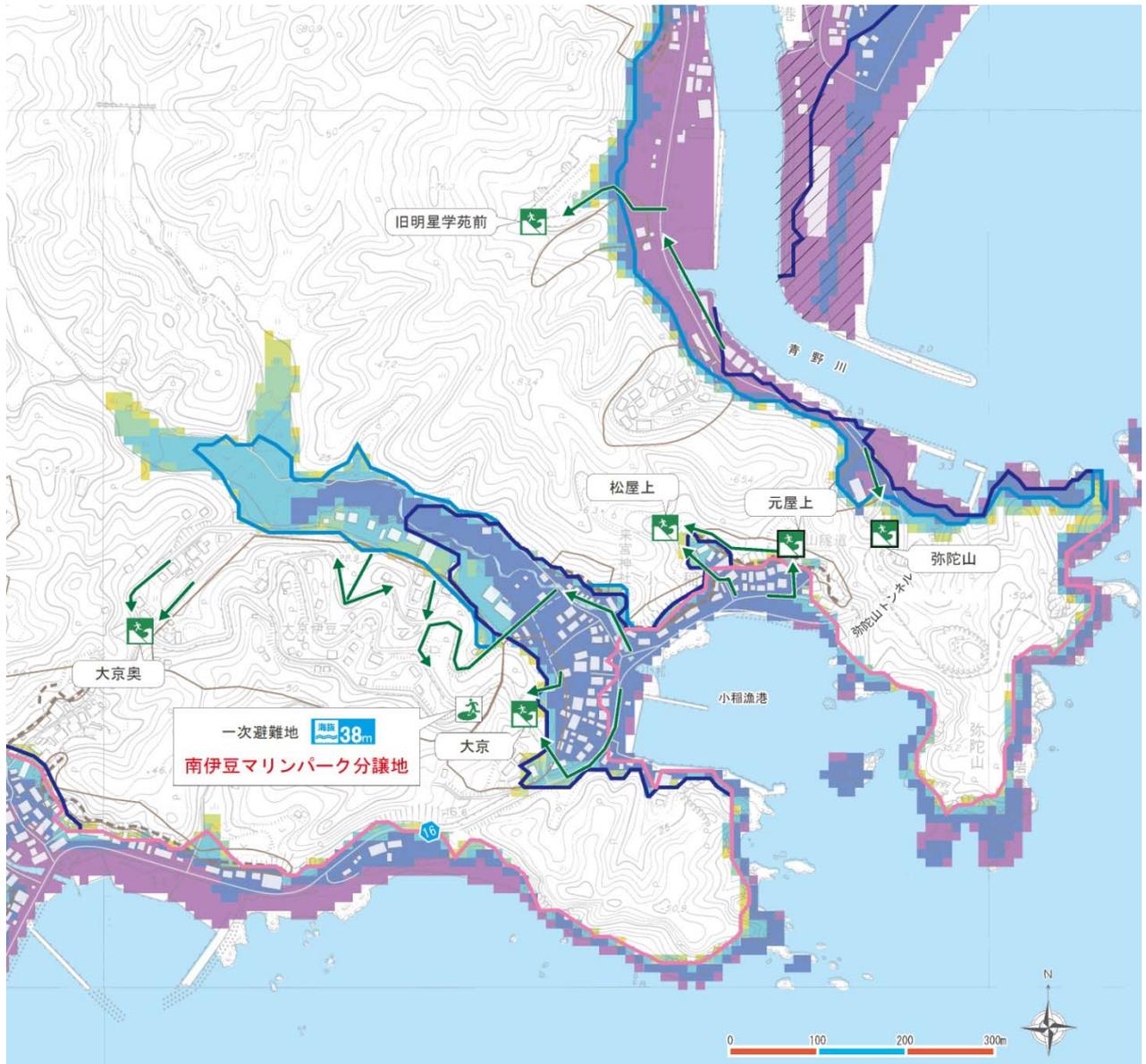
浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約12分で浸水開始
- 地震発生から約13分で浸水開始
- 地震発生から約14分で浸水開始
- 地震発生から約15分で浸水開始
- /// 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 避難方向（メイン）
- 避難方向（サブ）
※避難方向（メイン）で避難できない場合には、避難方向（サブ）で避難すること
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

【小稲地区】

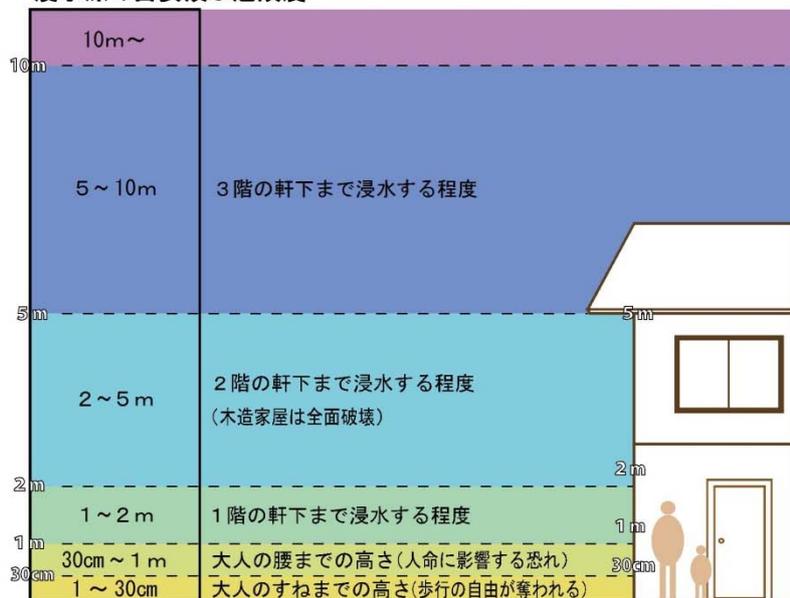


指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考	名称	備考
南伊豆マリパーク 分譲地	一次避難地	大京奥	地域集合場所
元屋上	高台	大京	
弥陀山		松屋上	

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。

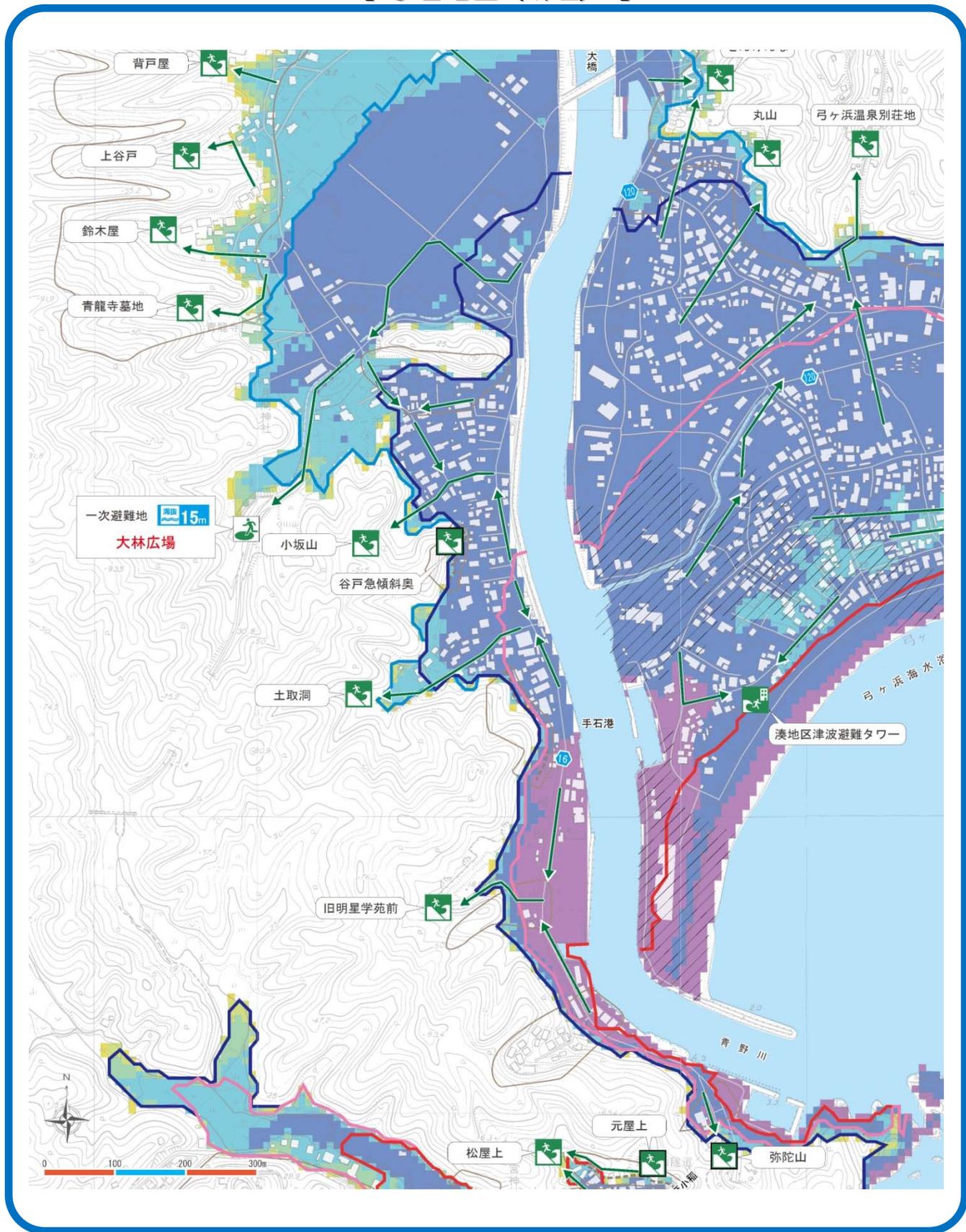
浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約12分で浸水開始
- 地震発生から約13分で浸水開始
- 地震発生から約14分で浸水開始
- 地震発生から約15分で浸水開始
- /// 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 避難方向（メイン）
- 避難方向（サブ）
※避難方向（メイン）で避難できない場合には、避難方向（サブ）で避難すること
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

【 手石地区 (1/2) 】



指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考	名称	備考
大林広場	一次避難地	小坂山	地域集合場所
谷戸急傾斜奥	高台	青龍寺墓地	
元屋上		鈴木屋	
弥陀山		上谷戸	
土取洞	地域集合場所	背戸屋	
旧明星学園前			

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。

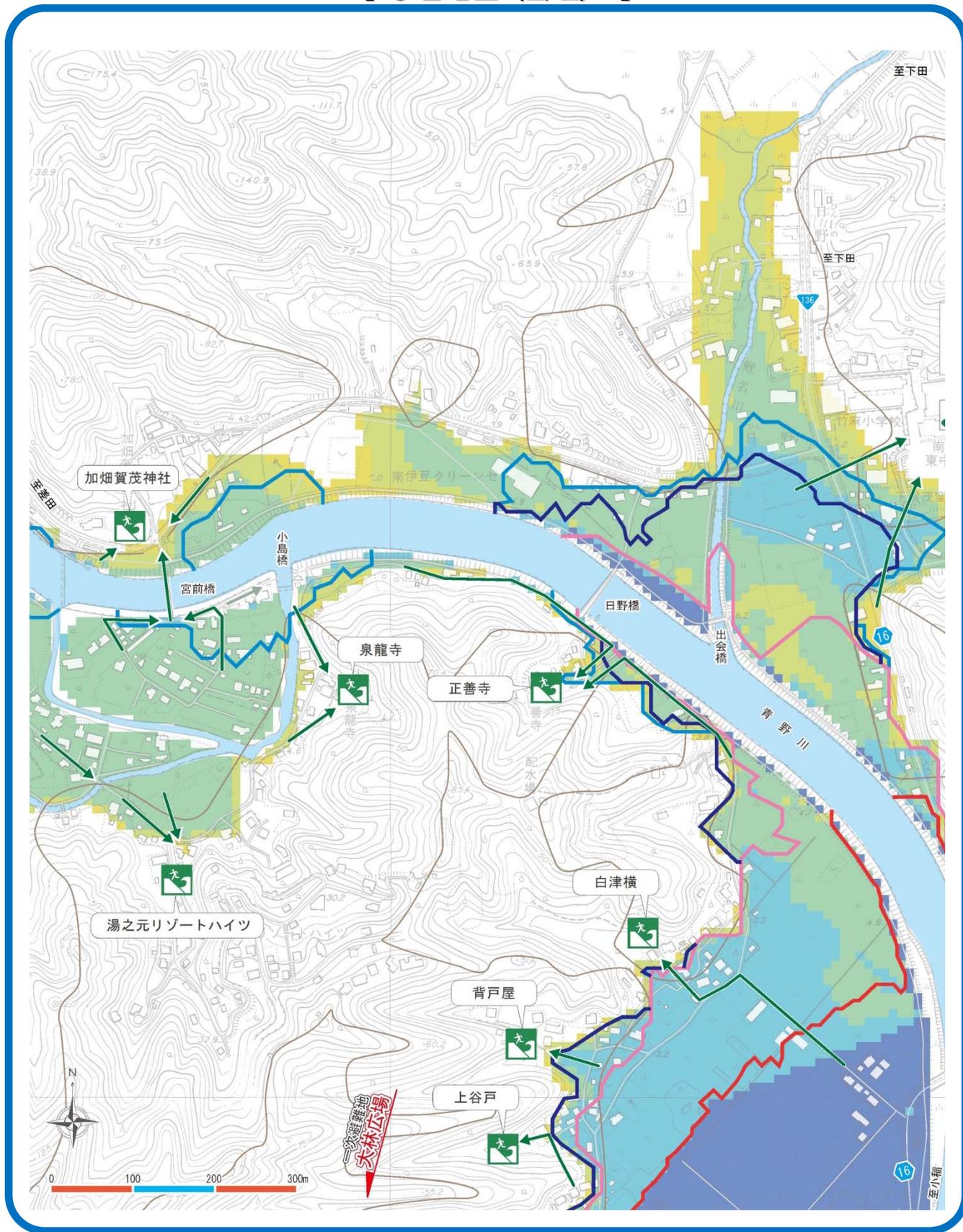
浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約14分で浸水開始
- 地震発生から約15分で浸水開始
- 地震発生から約16分で浸水開始
- 地震発生から約17分で浸水開始
- // 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 避難方向（メイン）
- 避難方向（サブ）
※避難方向（メイン）で避難できない場合には、避難方向（サブ）で避難すること
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

【 手石地区 (2/2) 】

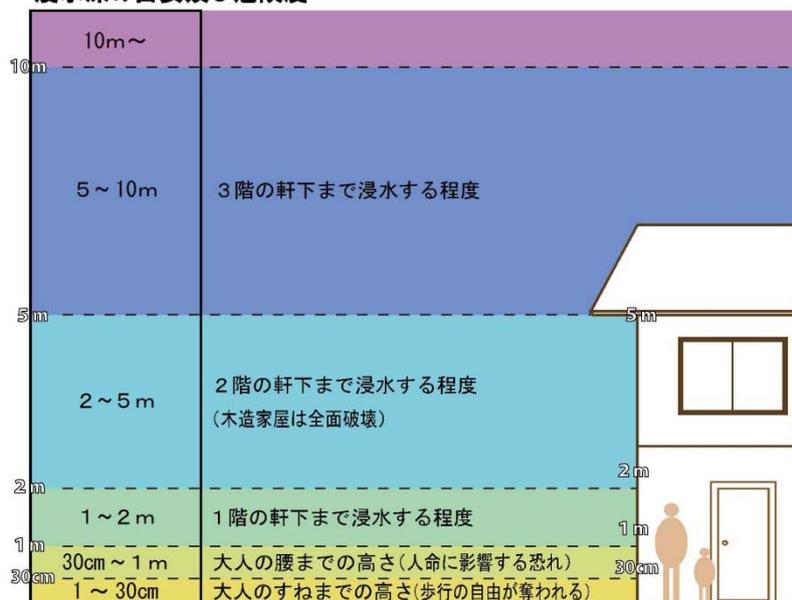


指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考
大林広場	一次避難地
上谷戸	地域集合場所
背戸屋	
白津横	
正善寺	

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。

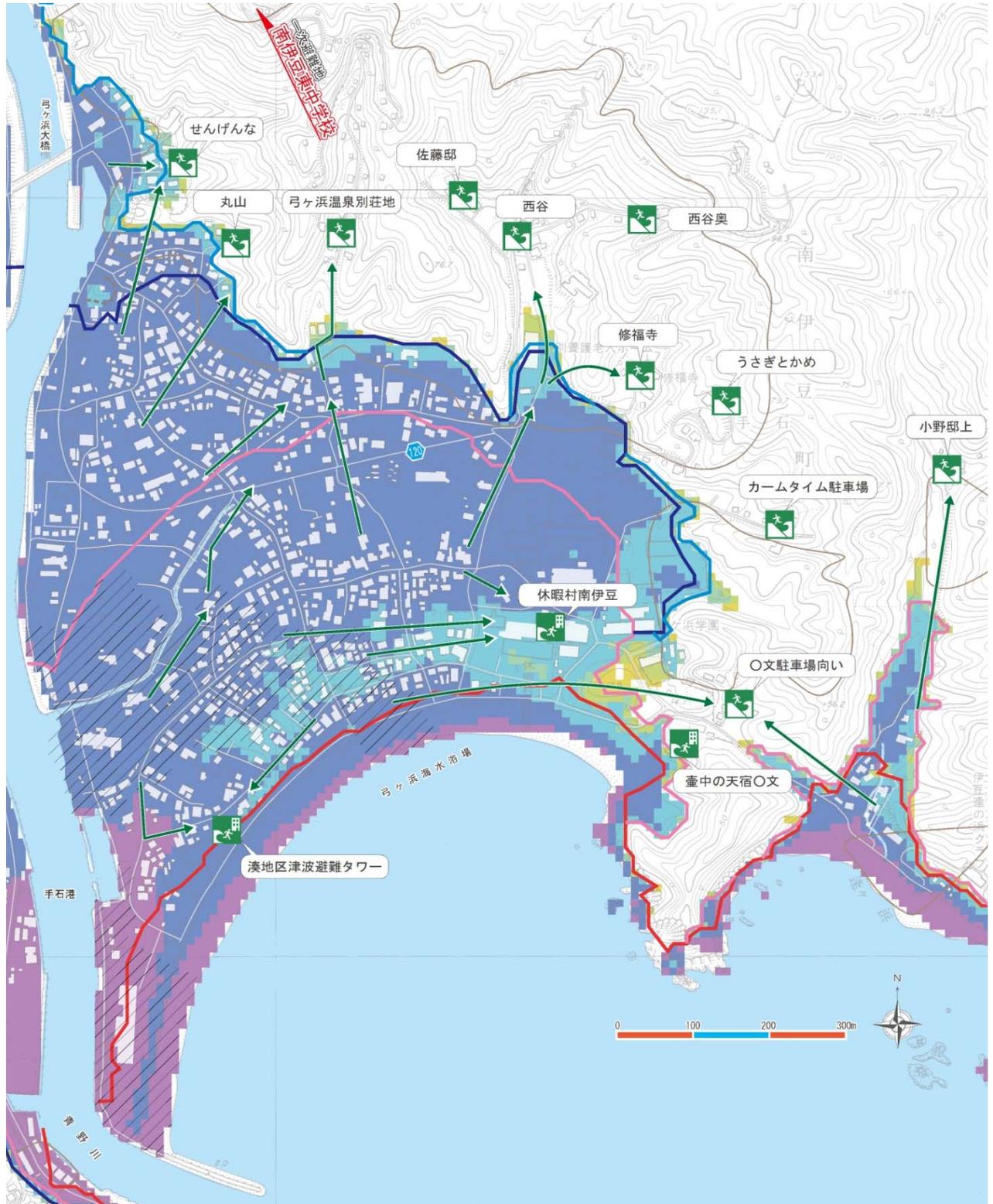
浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約17分で浸水開始
- 地震発生から約18分で浸水開始
- 地震発生から約19分で浸水開始
- 地震発生から約20分で浸水開始
- // 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 避難方向（メイン）
- 避難方向（サブ）
※避難方向（メイン）で避難できない場合には、避難方向（サブ）で避難すること
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

【 湊地区 (1/2) 】

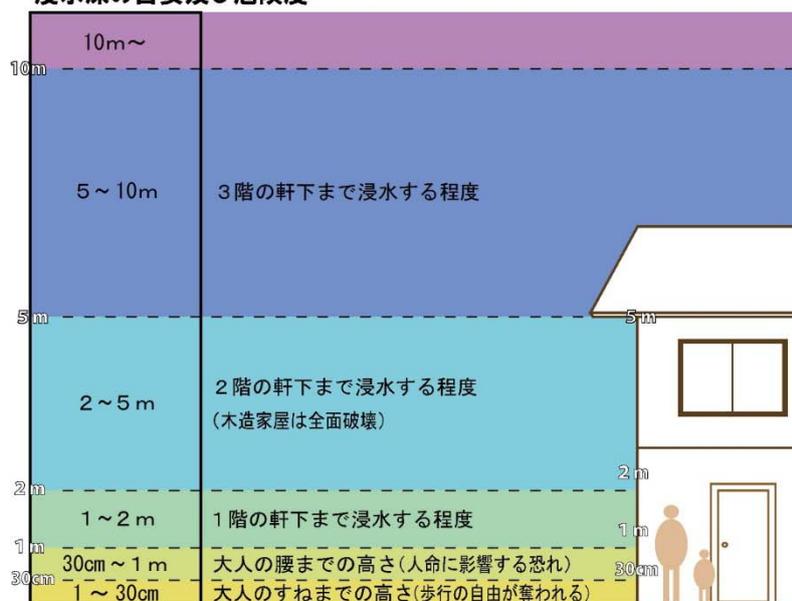


指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考	名称	備考
せんげんな	地域集合場所	うさぎとかめ	地域集合場所
丸山		カームタイム駐車場	
弓ヶ浜温泉別荘地		○文駐車場向い	
佐藤邸		小野邸上	
西谷		湊地区津波避難タワー	津波避難タワー
西谷奥		壺中の天宿○文	津波避難ビル
修福寺		休暇村南伊豆	

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。

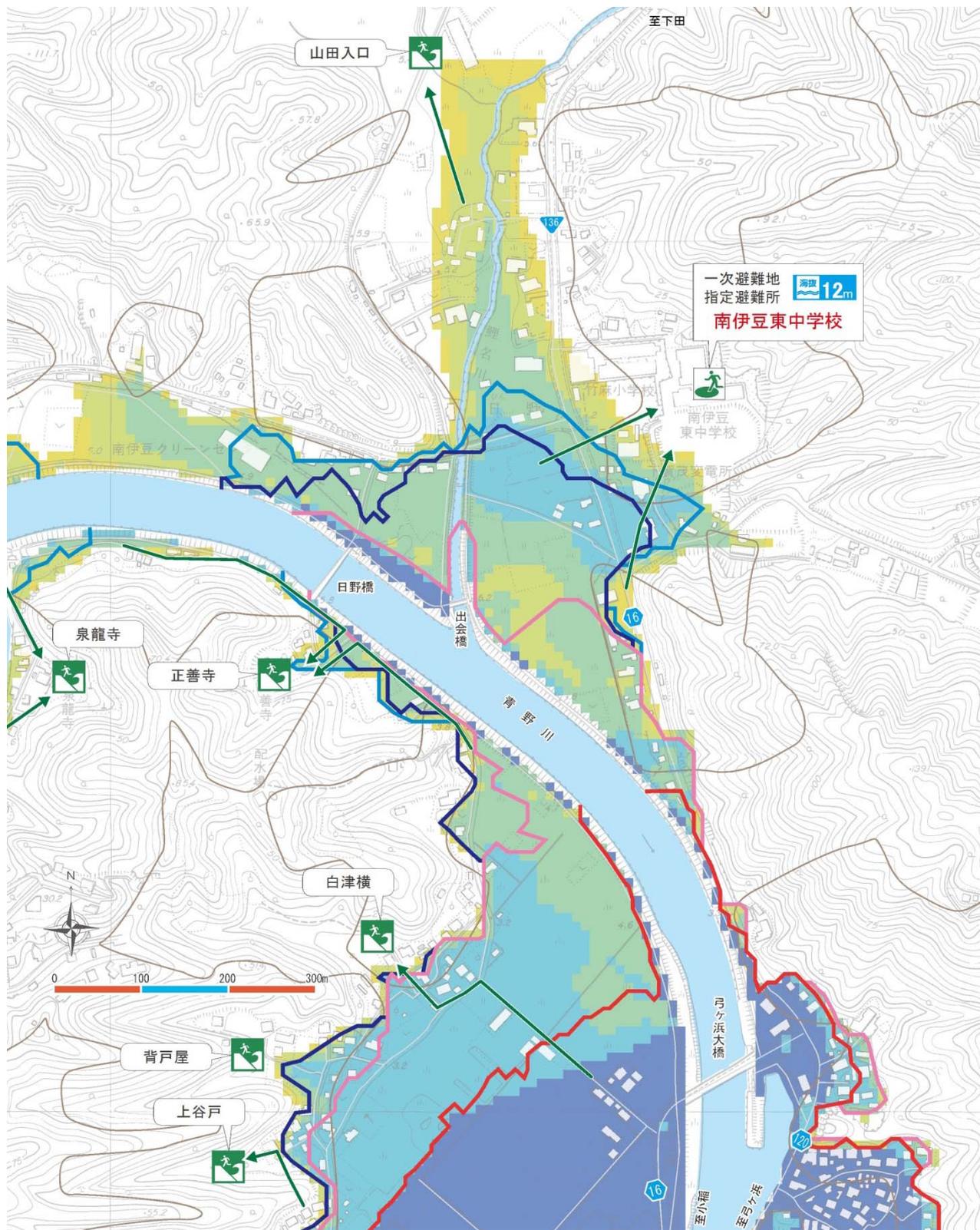
浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約14分で浸水開始
- 地震発生から約15分で浸水開始
- 地震発生から約16分で浸水開始
- 地震発生から約17分で浸水開始
- // 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 津波避難ビル・津波避難タワー
- 避難方向（メイン）
- 避難方向（サブ）
※避難方向（メイン）で避難できない場合には、避難方向（サブ）で避難すること
- 砂防えん堤
- かけ崩れ危険箇所・区域
- かけ崩れ防止施設

【 湊地区 (2/2) 】

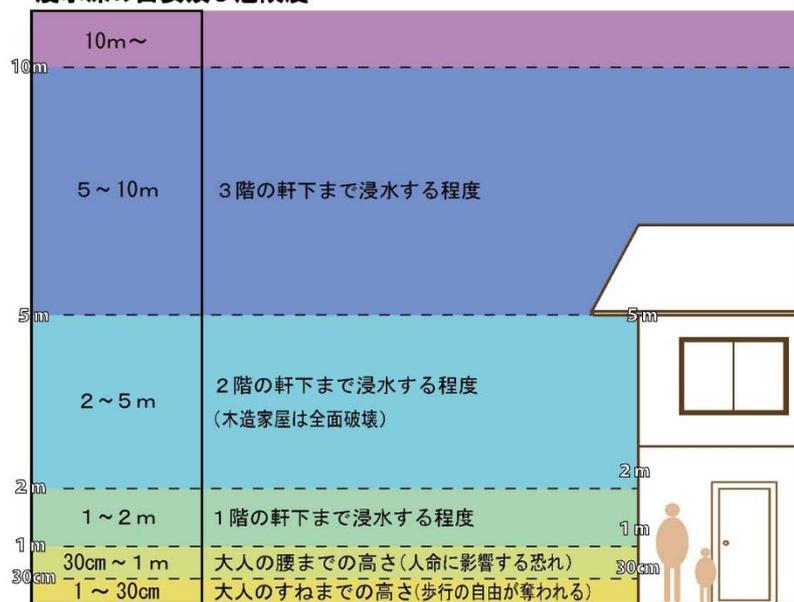


指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考
南伊豆東中学校	一次避難地・指定避難所
山田入口	地域集合場所

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。

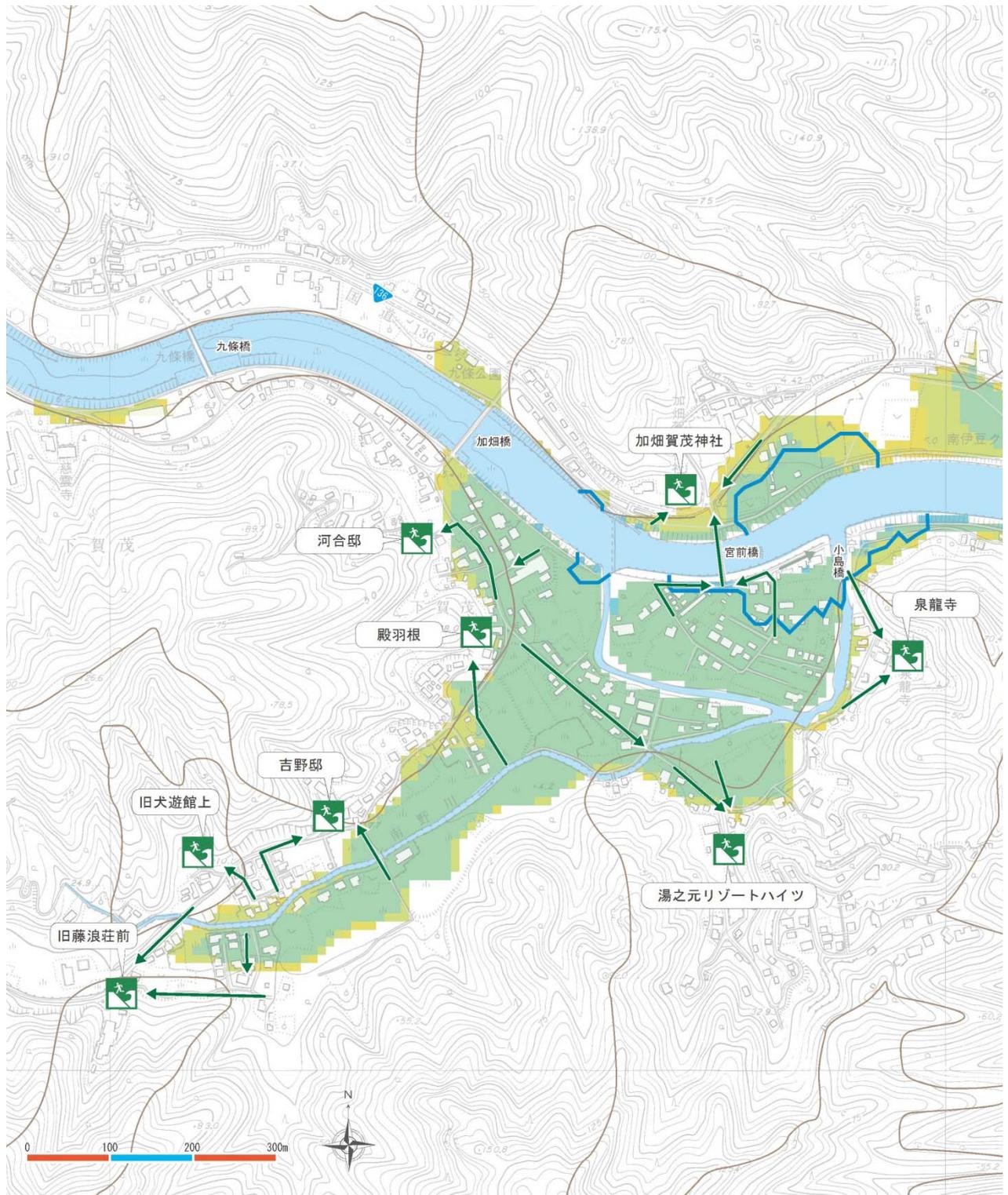
浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約17分で浸水開始
- 地震発生から約18分で浸水開始
- 地震発生から約19分で浸水開始
- 地震発生から約20分で浸水開始
- /// 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 避難方向（メイン）
- 避難方向（サブ）
※避難方向（メイン）で避難できない場合には、避難方向（サブ）で避難すること
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

【 下賀茂地区 】



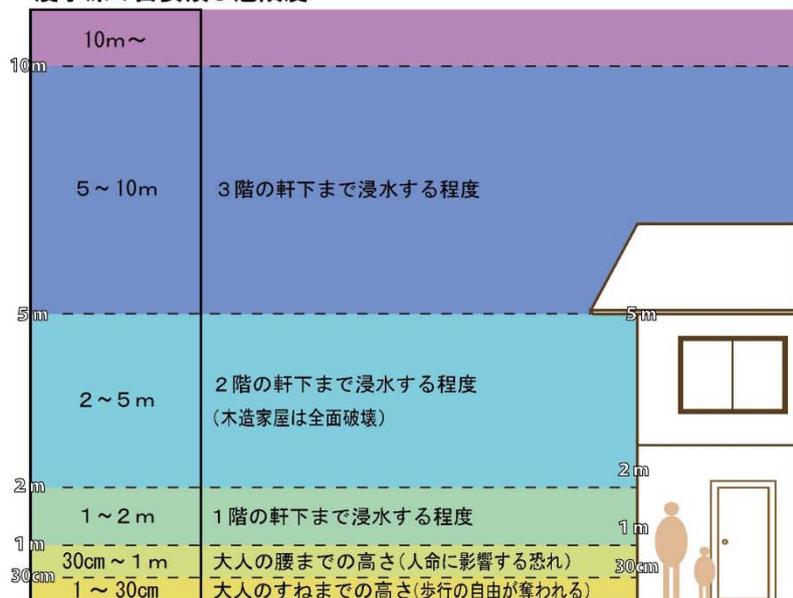
指定緊急避難場所（津波）一覧

名称	備考	名称	備考
加畑賀茂神社	地域集合場所	旧犬遊館上	地域集合場所
河合邸		旧藤浪荘前	
殿羽根		湯之元リゾートハイツ	
吉野邸		泉龍寺	

※ 下賀茂地区は一次避難地を選定していないため、記載していません。

浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場がどの程度浸水し、どのような危険があるのか確認して下さい。

浸水深の目安及び危険度



《 凡例 》

- 地震発生から約17分で浸水開始
- 地震発生から約18分で浸水開始
- 地震発生から約19分で浸水開始
- 地震発生から約20分で浸水開始
- /// 特に急いで避難するエリア
※5分で避難開始、1秒間に1m進む避難では危険があるエリア
- 一次避難地・指定避難所
- 高台
- 地域集合場所
- 避難方向（メイン）
- 避難方向（サブ）
※避難方向（メイン）で避難できない場合には、避難方向（サブ）で避難すること
- 砂防えん堤
- がけ崩れ危険箇所・区域
- がけ崩れ防止施設

1. 防災教育の目的

- 地震等による被害を最小限にとどめるため、職員をはじめ、町民及び各組織等を対象に地震等の防災に関する知識と防災対応を啓発指導し、個々の防災力向上を図ります。

2. 各自の役割

- 【町】 多様な主体が関わる地域コミュニティにおいて、防災に関する教育の普及促進を図ります。
- 【教育機関】 防災に関する教育の充実に努めます。
- 【自主防災組織】 地域住民自らの防災活動（自助・共助）の強化に努めます。具体的には、町民の防災対策の啓発活動を行うほか、諸活動の企画・実施に参画します。
- 【町民】 自分たちの安全は、自らの手で守る意欲をもち、平常時から発災後にいたるまでを想定し、可能な防災対策を着実に実施し、災害が発生した場合の備えに万全を期することに努めます。

3. 防災知識の普及・啓発方法

- ① **学校教育、社会教育を通じての普及**
 - ・ 災害の種類、原因等についての科学的知識並びに災害予防措置、避難方法を学習内容等に組み入れ、学校教育及び社会教育の全体を通じて、防災教育の徹底を図ります。
- ② **職員及び関係者に対する普及**
 - ・ 防災関係機関における災害対策関係職員の防災体制、適正な判断力等をあらゆる機会を利用してその徹底を図ります。
- ③ **印刷物等による普及**
 - ・ 津波避難マップの配布。さらに、広報みなみいず・町ホームページに防災情報を公開することにより、防災意識の高揚を図ります。また津波避難マップの活用方法を町の出張講座等で広報します。
- ④ **映画、スライド、講演会、広報誌等による防災知識の普及**
 - ・ 防災週間等を通じ、防災関係者並びに町民に対し、映画、スライド、講演会を適宜開催するほか、広報みなみいずにより防災知識の普及を図ります。
- ⑤ **研究会等の開催による普及**
 - ・ 定期的に研修会を開催し、自主防災組織のリーダーの養成を図るものとしします。
- ⑥ **自主防災地図の作成による普及**
 - ・ 自主防災組織は、津波避難マップを使用した勉強会や避難訓練に取り組み、自主防災組織が作成する防災計画書の作成を容易にするとともに、一人ひとりの防災対応行動の的確化を図ります。

第4章 防災訓練

1. 防災訓練の時期と内容

訓練の種類	実施時期	訓練の内容
総合防災訓練	8月30日～9月5日 (防災週間)	地域の防災体制の確立や県民の防災意識の高揚等を目的とし、総合的な地震防災訓練を実施
地域防災訓練	12月の第1日曜日 (地域防災の日)	突然発生地震を想定するものとし、県が作成した訓練内容に関する指針を参考に、避難行動要支援者等に配慮した訓練を実施
津波避難訓練	3月11日を含む10日間 (津波対策推進旬間)	この訓練は、「津波警報」が発表されたことを想定するものとし、県が作成した訓練内容に関する指針を参考にして実施

※ なお訓練終了後は、評価を実施し、課題・問題点を明確にし、必要に応じ体制等の改善を行う。
また、随時、図上訓練を実施し、防災対策の見直しに資する。

第5章 避難行動要支援者や観光客・海浜利用者等の避難対策

1. 避難行動要支援者への避難対策

- 避難行動要支援者に対する情報の伝達や安否確認、避難地又は避難所における対応等が迅速かつ確に実施できるよう、各関係機関や関係者は協力し、情報の共有、避難支援計画の策定等、避難行動要支援者の避難支援体制を整備します。
- 自主防災組織が中心となり、日頃から連携して災害時の協力体制の整備に努めます。
- 避難誘導、避難所での支援等を適切に行うため、避難行動要支援者が参加する防災訓練を実施します。
- 在宅の避難行動要支援者に対して、災害時の的確な対応能力を高めるため、防災知識の普及啓発に努めます。
- 消防機関等関係機関は、日頃から在宅している避難行動要支援者の防災環境の把握に努め、防災上の相談、指導を行います。
- わかりやすい情報伝達の体制の整備を図ります。

2. 観光客、海浜利用者等への避難対策

- 観光客等の一次避難者のために、要避難地区であることや想定浸水深、避難地・避難路等について、看板・チラシ・パンフレット等により広報するなど、円滑な避難対策に配慮するように努めます。
- 海浜利用者等がすみやかに津波から避難できるよう、防潮堤に避難口、避難階段等の施設及び誘導のための標識板等の整備に努めます。
- また観光客又は町内に在勤、在学、その他の目的により一時的に滞在する者の支援を行うために、平常時から関係機関、輸送機関、観光協会及び旅館・ホテル業者等と連携を図り、災害時に適切な対応がとれるよう体制整備を図ります。

1. 職員の参集体制

○ 津波等が発生した場合、以下の基準で職員を配備します。

種別	配備基準	配備内容
第1次 事前配備 体制	・津波注意報が県下に発表されたとき	・情報収集を主とし、状況により他の職員を動員できる体制
第2次 事前配備 体制	・津波警報が県下に発表されたとき ・震度4の地震を観測したとき ・その他、状況により町長が指令したとき	・必要な警戒活動にあたり、事態の推移により、速やかに災害対策本部を設置できる体制
警戒体制	・南伊豆町に土砂災害警戒情報が発表されたとき ・南伊豆町に特別警報が発表されたとき ・南伊豆町に大規模な災害が発生する恐れがあるとき ・その他、状況により町長（本部長）が指令したとき	・災害対策が遅延なく遂行でき、事態の推移によっては、直ちに他の職員を動員できる体制
救助体制	・南伊豆町に大規模な災害が発生したとき ・その他、状況により町長（本部長）が指令したとき	・警戒体制の人員を大幅に増員し、救助活動等の災害応急対策が円滑に行える体制
非常体制	・震度5弱以上の地震を観測したとき ・南伊豆町全般にわたり大規模な災害が発生したとき ・その他、状況により町長（本部長）が指令したとき	・全職員により災害対応する体制

2-1. 情報の収集

- 町民、自主防災会、消防団等からの通報、及び国、県等が発信する情報の収集に努めます。
- また、「津波注意報」または「津波警報は未発令だが、震度4以上の地震を感じた時」は、海面の監視を実施します。

2-2. 情報の伝達

- 町民、観光客等に対し、町や関係機関の保有する通信設備等の手段を活用して行い、地域の特性等に応じ、地域の自主防災会、消防団等の協力により、速やかに伝達します。

【情報伝達手段】

- ・ 防災行政無線（屋外スピーカー・個別受信機・防災ラジオ）
- ・ 電話・FAX（自主防災会長への連絡）
- ・ インターネット（町ホームページへ掲載）
- ・ エリアメール（県防災情報システムを活用）
- ・ テレビ

3. 津波注意報・大津波警報等の発令

○ 津波が発生した場合、気象庁より津波注意報や大津波警報が発令されます。

津波警報等の種類	発表基準	津波の高さ 予想の区分	発表される津波の高さ	
			数値での発表	巨大地震の場合の発表
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m<高さ	10m超	巨大
		5m<高さ≤10m	10m	
		3m<高さ≤5m	5m	
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	1m<高さ≤3m	3m	高い
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	0.2m≤高さ≤1m	1m	(表記なし)

4. 避難指示の発令

○ **どのような津波であれ、一刻も早い避難が必要であることから、「避難準備情報」、「避難勧告」は発令せず、基本的には「避難指示」のみを発令**します。

区分	発令時の状況	町民に求める行動
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> ・前兆現象の発生や、<u>現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況</u> ・<u>地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況</u> ・<u>人的被害の発生した状況</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動を取る

○ なお、大津波警報、津波警報、津波注意報により、避難の対象とする地域が異なります。

区分	発令時の状況
大津波警報	・静岡県第4次地震被害想定に基づくレベル2の地震の、津波浸水想定区域を含む地区（避難対象地区）
津波警報	・静岡県第4次地震被害想定に基づくレベル2の地震の、津波浸水想定区域を含む地区（避難対象地区）
津波注意報	・漁業従事者、沿岸の港湾施設等で仕事に従事する者、海水浴客等を念頭に、海岸堤防等より海側の地域を対象とする

※ ただし浸水想定精度に限界があることから、上記の区域より内陸側であっても、立ち退き避難を行うものとする。

南伊豆町 津波避難計画【本編】

〒415-0392

静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂 315-1

南伊豆町 総務課